

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

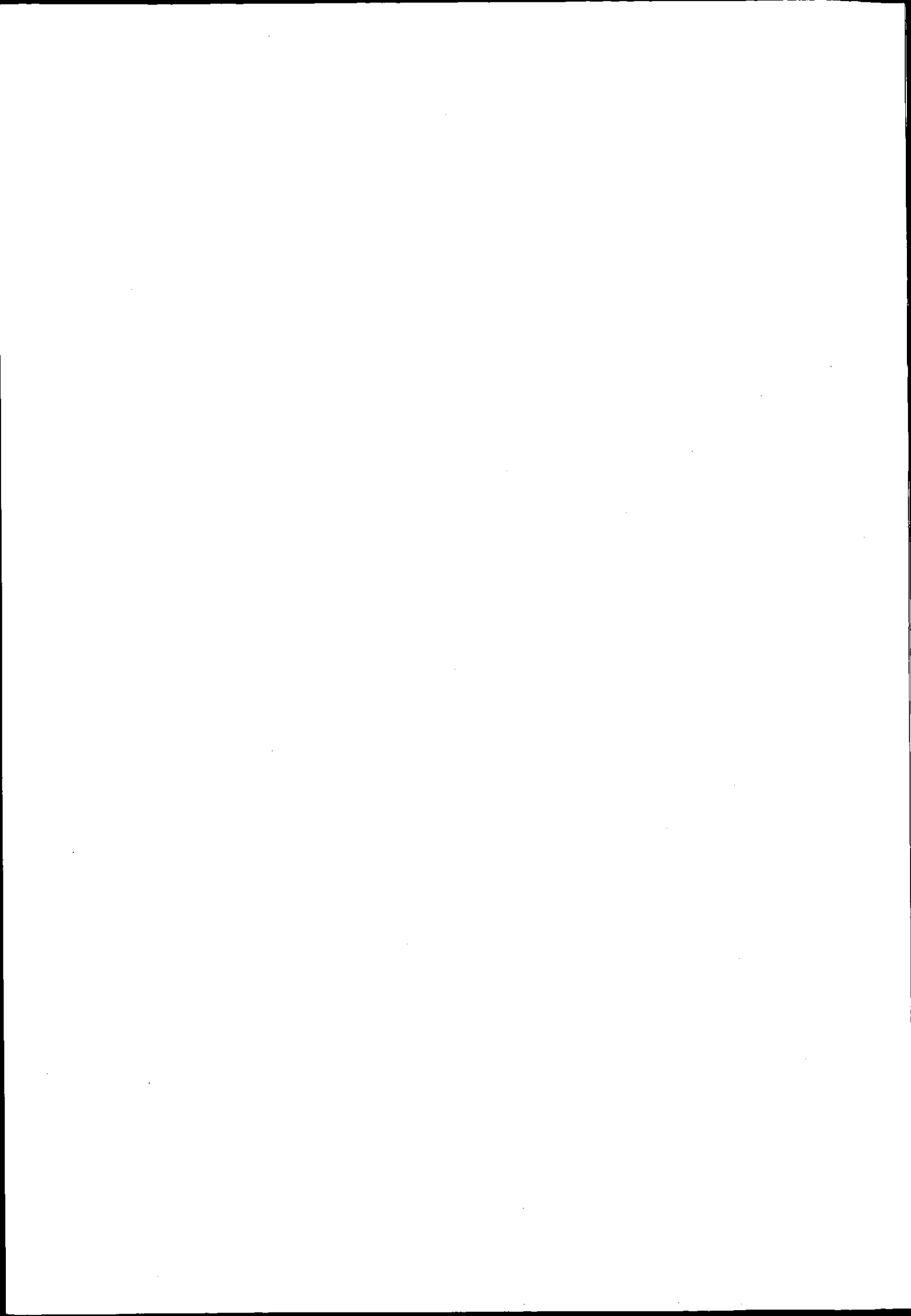
沖縄地域における

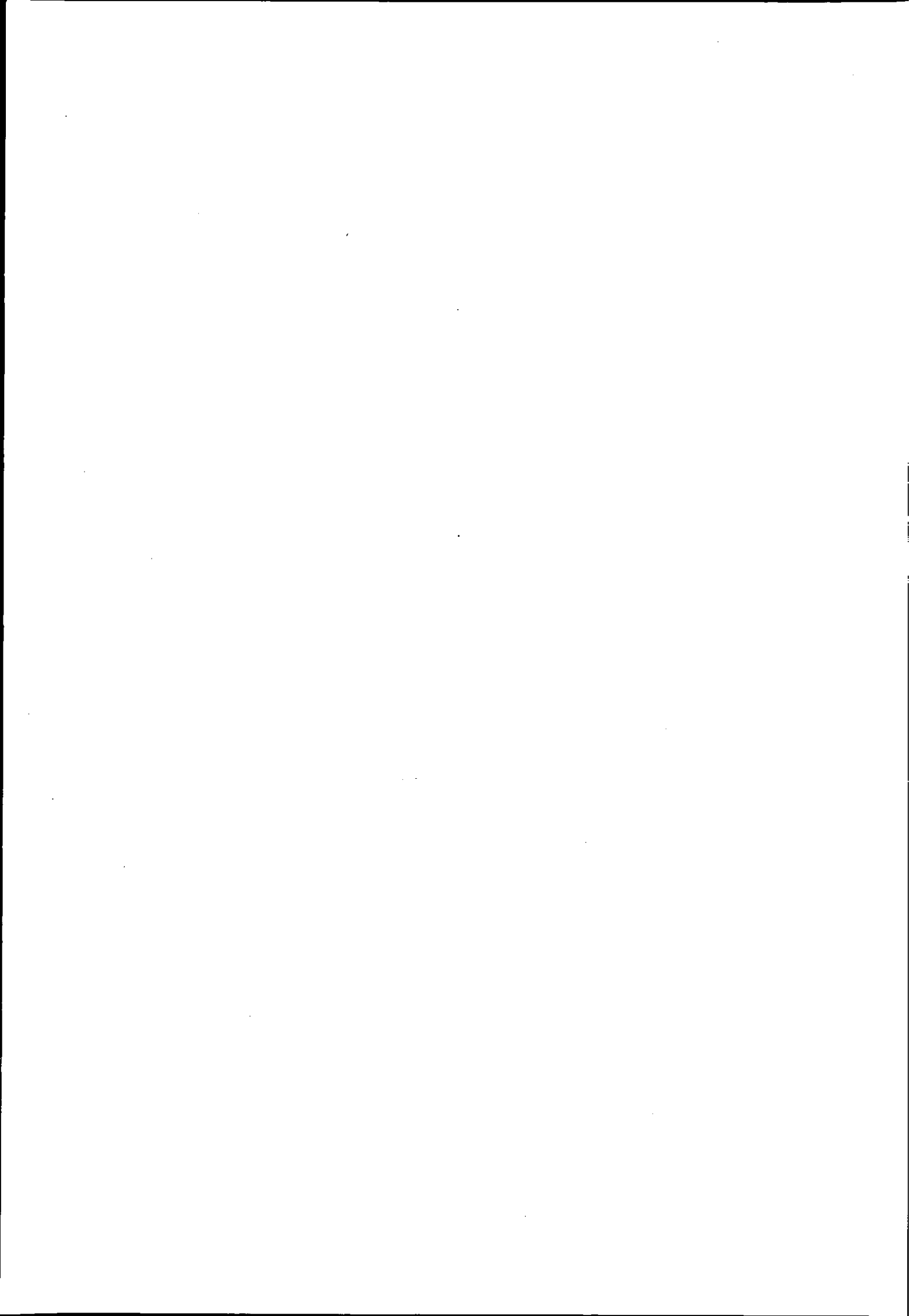
文化情報データベースの構築

平成2年3月

財団法人 データベース振興センター

委託先 沖縄情報通信株式会社





本報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて作成したものである。

序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/4にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスについてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 東京工科大学教授 西野博二氏)を設置している。

この「沖縄地域における文化情報データベースの構築」は平成元年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として、当財団が沖縄情報通信株式会社に対して委託実施した課題の一つである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成元年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成2年3月

財団法人 データベース振興センター

平成元年度データベース構築・技術開発促進委託課題

分野	課題名
社 会	1 気候情報データベースの構築
	2 電磁波環境障害に関するデータベースの構築
	3 災害情報シソーラスの構築
	4 意味情報を中核とした医療評価データベースとコミュニケーションシステムの構築
	5 ハンディキャップパーソンの情報ニーズに即したライフサポートデータベースの構築
	6 博物館情報データベースシステムの構築
	7 中央省庁での電子計算機利用に関する報告書のデータベース化
地域活性化 中小企業振興	8 沖縄地域における文化情報データベースの構築
	9 九州地域の人材情報データベース構築に関する調査研究
	10 高岡市商圈データベースの構築
	11 地域の物産・人材・文化情報のデータベース構築と新しい地域間交流推進に関する調査研究
地 図	12 マルチメディア型地図データベース構築のための調査研究
エネルギー・資源	13 燃焼技術と燃焼装置設計のデータベース作成
部 品・材 料	14 技術支援システムにおける産業機械部品データベースの構築
	15 マイクロコンピュータのプログラマブル周辺デバイスのデータベース構築
標 準 化	16 イオンクロマトグラフィー・データベースの構築
	17 CD-ROMマルチメディアデータフォーマットの調査
海 外	18 データベース構築のためのターミノロジーの調査研究
技 術	19 異種データから構成されるデータベースの総合的処理技術に関する調査研究
	20 バイナリモデルに基づく先端的文書検索システムの開発

目 次

序

1. データベース構築にあたって

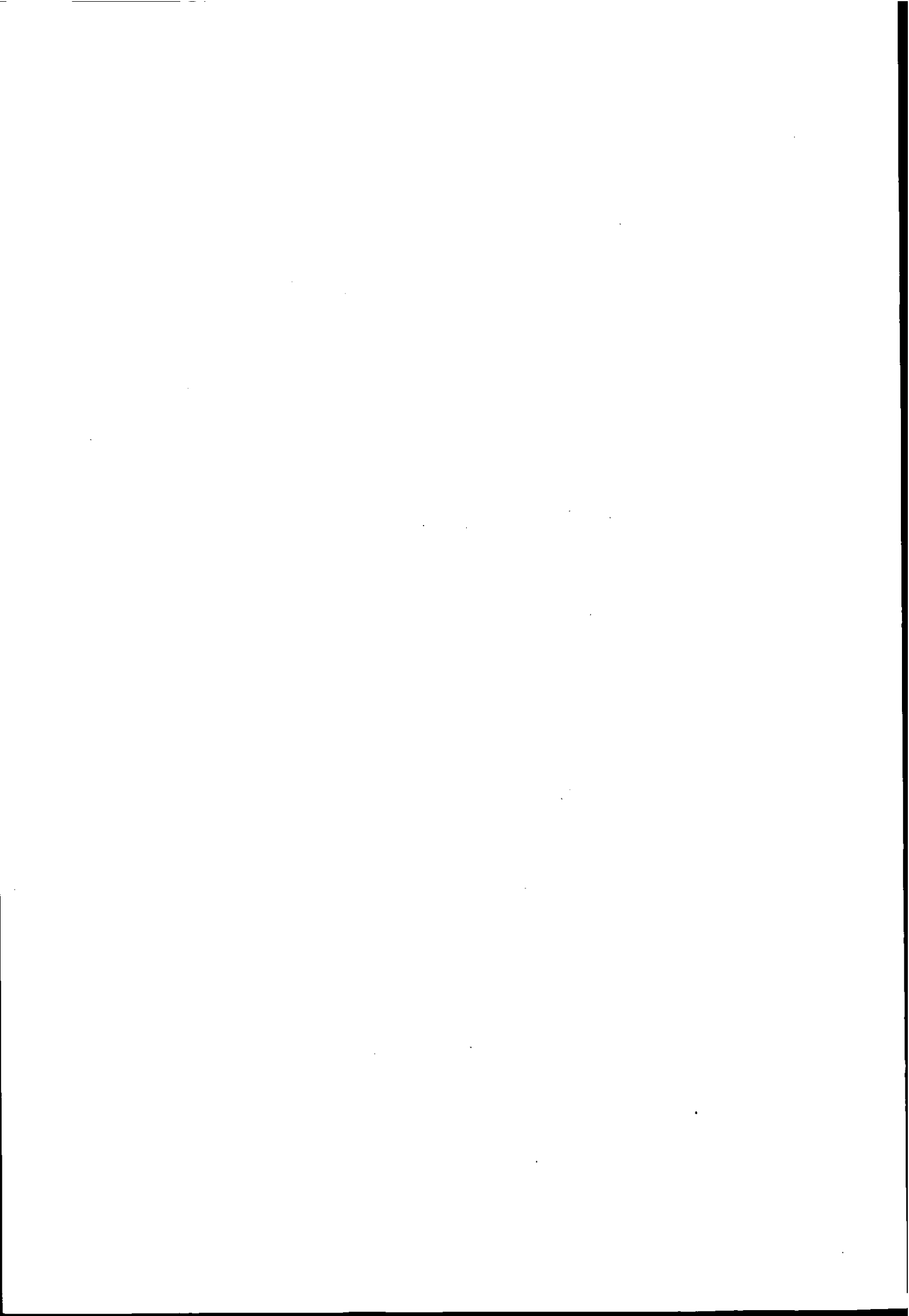
1. 1	構築の背景	1
1. 2	目的	1
1. 3	ビジョンシティ構想	2
1. 4	システムイメージ	4
1. 5	実施体制	5

2. データベース構築内容

2. 1	作成手順フロー	6
2. 2	情報提供フロー	8
2. 3	検索画面	21
2. 4	システム構成	49
2. 5	特徴	51
2. 6	予想される効果	51

3. 今後の課題

3. 1	システムの評価	53
3. 2	今後の課題	55



沖縄地域における文化データベースの構築

1. 1 構築の背景

沖縄情報通信株式会社では、主に観光客に対し観光情報等を提供するビデオテキスト利用による情報提供システム（以下、ビジョンシティ）を運営している。

本システムは、沖縄県内の主要産業である観光周辺産業の振興、沖縄の文化的貢献、さらには、きたるべき高度情報化社会についての県民へのニューメディア啓蒙を目的に作成され、観光、レジャー、ビジネスの幅広い情報を提供している。

沖縄県の観光資源は、熱帯型自然を中心とする若年向きの行動型資源と、戦跡を中心とした中高年向きの観覧資源が主となるが、特に、前者は円高、国際化の影響によりゲーム、ハワイ等との差別化が困難となり、沖縄県の優位性は失われつつあるのが現状である。

一方、最近の観光客の動向は、長崎オランダ村の成功に代表されるように、行動型、観覧型に加え、知的好奇心を求める文化志向型が台頭しており、この傾向が沖縄の観光産業振興に大きく貢献するものと考えられる。

沖縄は、古くは琉球王朝を持つ王国であり、その経緯を汲む文化資産の豊富さ、特異性は我国で自他共に認めるのものがある。

以上の状況を踏まえ、ビジョンシティによる情報提供の一環として、沖縄文化情報をデータベース化し、全国に広く提供することにより、観光客数を増加させ、沖縄県主要産業である観光周辺企業を活性化し、さらには、我国の文化資産保護をデータベース主導で行うことを目的に沖縄文化情報のデータベースの構築を行う。

1. 2 目的

沖縄県内の文化資産を紹介する上で、系統だった啓蒙資料は、沖縄百科辞典（沖縄タイムス社編）等の文献資料が中心で本格的に電子化されたものはないといえる。これら資料は一般に対する紹介というよりも辞典形式で研究用のものといえる。加えて文献である為、持ち運び、情報内容の更新性等で大きな問題をかかえている。

この為、沖縄県内の文化資産を手軽に一般に紹介し、県内外にその内容を広く流布し、かつ即時性のある紹介を行なうことにより沖縄県内への来沖者を増加させ、県の産業振興を行なうとともに県内文化資産の保護、啓蒙をすることができないのかという視点から「沖縄地域における文化データベースの構築」を構想した。構築する上での基本的なポイントは

- (1) ユーザー（観光客又は他地域にあって観光を希望するもの）サイドに立って、利用しやすいシステムとすること
- (2) データベースの内容が文化的色彩が濃いことから、教育データベースとして活用できるようにすること

等に留意した。

こうした観点から、データベース構築にあたっては、その検索の切り口を十分検討し利用者の感性、目的にあった検索肢を含むこと、加えて来沖者のみならず、他地域内の沖縄観光希望者に対しても広く啓蒙する必要があることから、システム的には、標準表示プロトコルの設定、複数のメディアに表示可能なデータベースイメージの作成を充実させることとした。

すなわち、構築され、広く利用されることにより沖縄県の産業振興、文化的貢献に寄与することが、沖縄地域における文化データベース構築の目的である。

1. 3 ビジョンシティ構想

(1) ビジョンシティ構想

沖縄情報通信株式会社では、主に観光客に対して、観光情報を提供するビデオテキスト利用によるビジョンシティを運営している。

本システムは、沖縄県内の主要産業である観光周辺産業の振興、沖縄の文化的貢献を中心目的として作成されている。

加えて、きたるべき高度情報化社会において、地方普及が遅れ、どうしても首都圏、大都市中心となりがちで、ニューメディアサービス、インフラストラクチャーを沖縄県に根づかせ、県民の総合的な通信資産とし、利用することも大きな目的となっている。

また、沖縄から他県へ情報を配信できる随一の大型電子メディアとして、今後高度情報化社会時代におけるエンドユーザー型通信の沖縄県の窓口機能を持つことを構想化して作成されている。

すなわち、沖縄県における観光産業振興、文化的貢献、高度情報化社会のインフラストラクチャー整備、他県への沖縄情報配信の窓口機能として、ビジョンシティは、昭和62年10月その運営を開始した。

(2) ビジョンシティ構想との位置づけ

ビジョンシティ構想の一環として沖縄地域における文化情報データベースは、総合情報データベース内での文化領域を受け持つ。

ビジョンシティデータベースは、その当初の成り立ちから、観光情報が中心となっているが、その中でも特に、若年向きのスポーツ、ビーチの行動型観光施設情報、中高年向きの史跡、戦跡等の観覧型施設情報が中心となっている。

しかしながら、最近の傾向として、文化をキーワードとした知的探求型の来沖者に対する情報サービス機能が不足していたわけであるが、本データベースの構築により、文化的な部分を補完し、より完成度の高い観光文化データベースになるといえる。

表1 ビジョンシティの全体構想

<ビデオテックス通信 (NAPLPS) >

情報提供－観光情報	県内主要観光地ガイド
DO SPORTS	県内全ビーチ、ゴルフ場、 テニスコート
食べる・飲む	県内飲食店ガイド
ショッピング	県内土産店ガイド
名産品	県内名産品ガイド
沖縄百科	県勢データ
交通情報	県内バス路線、船、飛行機航路ガイド
沖縄文化情報データベース	

<電子広告システム>

情報提供－観光情報、県内主要観光地ガイド

<ファクシミリ通信>

情報提供－公共工事入札情報、建築確認申請情報
沖縄文化情報データベース

<パソコン通信>

情報提供－沖縄文化情報データベース

<双方向CATV通信>

情報提供－沖縄文化情報データベース

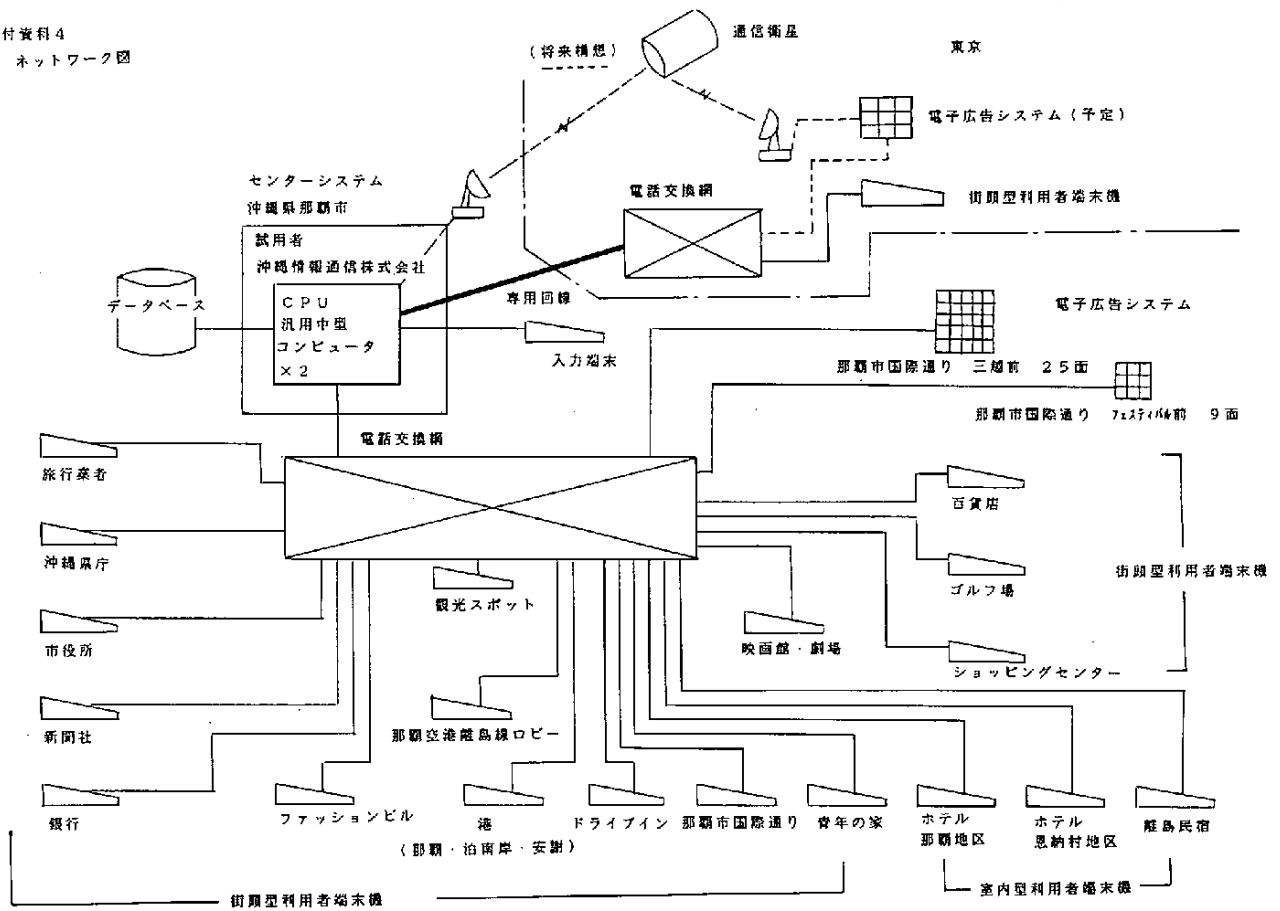
1. 4 システムイメージ

沖縄地域における文化情報データベースは、大きく分けて、陶器、漆器、織物、紅型、琉球ガラス、民俗芸能、組踊、舞踊、民謡、民話の分野に分けられる。利用するシステムは、現在運用しているビジョンシティのネットワークとPCでのスタンドアロン型で利用することができる。

下図は、ビジョンシティのネットワークシステム構成である。

図1 ビジョンシティネットワーク図

添付資料4
ネットワーク図



1. 5 実施体制

(1) 作業手順

前記システムイメージに基づいて、次のような、作業手順とした。

- ①データベース研究
- ②システム設計
- ③プログラム開発
- ④データベース作成

尚、作成するデータベースは、NAPLPS画面で500画面とした。

(2) 実施体制

実施体制としては、沖縄文化データベース推進委員会（表2 参照）を設置し、システム設計のチェック並びにデータベースのコンセプト作成、内容確認、サービスの方法等について審議していただいた。

すなわち、沖縄県の文化資産を活用する為に、観光、教育、文化、事業のあらゆる立場の専門家の方々に幅広い観点から助言をしていただいた。

主な論点は次の通りである。

- ①沖縄文化データベースの基本コンセプトの検討／審議
- ②沖縄文化データベースの項目内容の検討／審議
- ③沖縄文化データベースの利用形態／方法
- ④沖縄文化データベースの今後の発展方向性

表2 沖縄文化データベース推進委員会名簿

	氏名	所属団体	役職
委員長	眞栄城 守定	財団法人 沖縄地域科学研究所	理事長
委員	仲間 一郎	沖縄総合事務局 通商産業部 商工課	課長
〃	下地 英一	沖縄県 商工労働部 商工課	課長
〃	大城 栄禄	沖縄県 観光文化局 観光振興課	課長
〃	翁長 自健	沖縄県 観光文化局 工芸産業課	課長
〃	照屋 善次郎	沖縄県 観光文化局 文化振興課	課長
〃	宜保 栄治郎	沖縄県 教育庁 文化課	課長
〃	平良 邦夫	沖縄物産センター	社長

2. データベース構築内容

2. 1 作成手順フロー

本データベースの作成する手順は、図2の通りである。作成にあたっては、段階的に ①システム設計 ②データの収集 ③分類・整理（標準化） ④電子化の手順で構築する。尚、データベースの情報種類並びに主な情報内容については、下記の通りである。

(1) データベースの情報種類

本データベースの作成にあたって、沖縄文化の特色、重要性を加味し、大きく ①陶器データ ②漆器データ ③織物データ ④紅型データ ⑤琉球ガラスデータ ⑥民俗芸能データ ⑦組踊データ ⑧舞踊データ ⑨民謡データ ⑩民話データの電子化を行うこととした。

(2) 主な情報内容

それぞれの情報種類において作成される情報内容は、大きく分けて ①商品知識 ②店舗 ③企業団体紹介 ④セミナー／体験コース ⑤ツアー／イベント情報の5種類に分類され、具体的な内容については、表3の通りである。

表3 情報の内容

セミナー／ 体験コース	企業団体紹介	店 舗	商品知識	ツアー／ イベント情報
コース名 日程 場所 費用 スケジュール 講師 主な内容 交通 地図	企業／団体名 所在地 代表者 売上高 就業人数 主な取扱い商品 地図	所在地 代表者 主な取扱い商品 特典サービス 地図 おすすめ商品	主な商品特性 歴史 売上統計 製造工程 名品/史物 製造所 販売店	期日 場所 主催者/団体 スケジュール 交通 費用

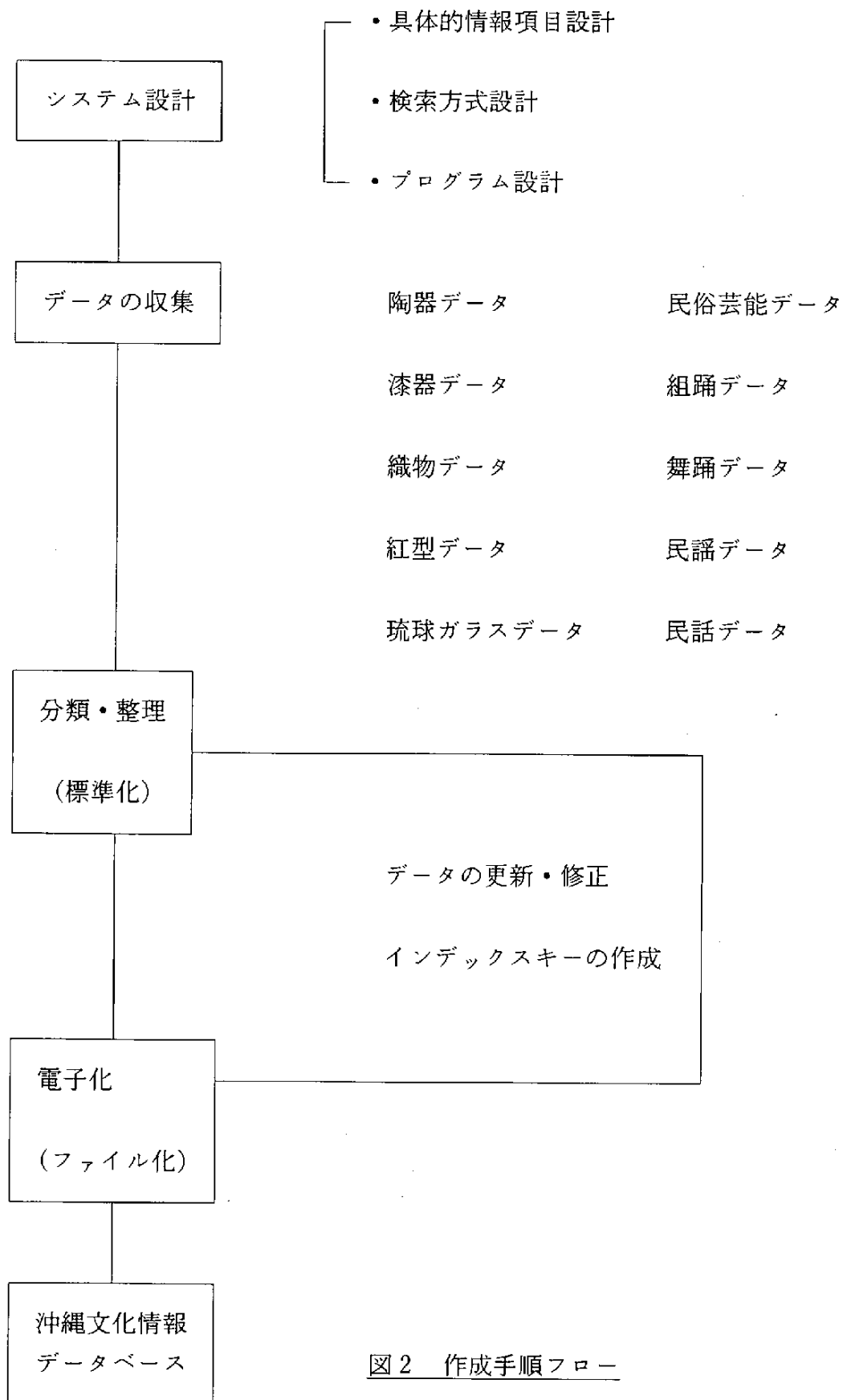


図2 作成手順フロー

2. 2 情報提供フロー

情報提供フローは以下の4種類に大きく分けられる。

- ①希望インデックスによる情報提供フロー
- ②Q&A型の質問形式による情報提供フロー
- ③解説型のダイレクトアクセスによる情報提供フロー
- ④画面IDによるダイレクトアクセス情報提供フロー

これらの情報提供フローは複合化されており、その複合条件に該当する情報を情報データベースファイルより抽出表示する形態をとる。この形態をとることにより、あらゆる層に適した検索項目より情報を抽出することが可能となり加えて、情報データベースの多目的利用が可能となる利点がある。

本データベースの4種類の情報提供フローによりデータベース検索に不慣れた利用者に対する簡易型の紹介から教育、企業における研究、調査利用まで幅広く対応することが可能となり、データベース利用の促進が活発化される利点がある。

本データベースの情報提供フローイメージは図3の通りである。

本データベースの具体的な検索項目一覧は表4の通りである。

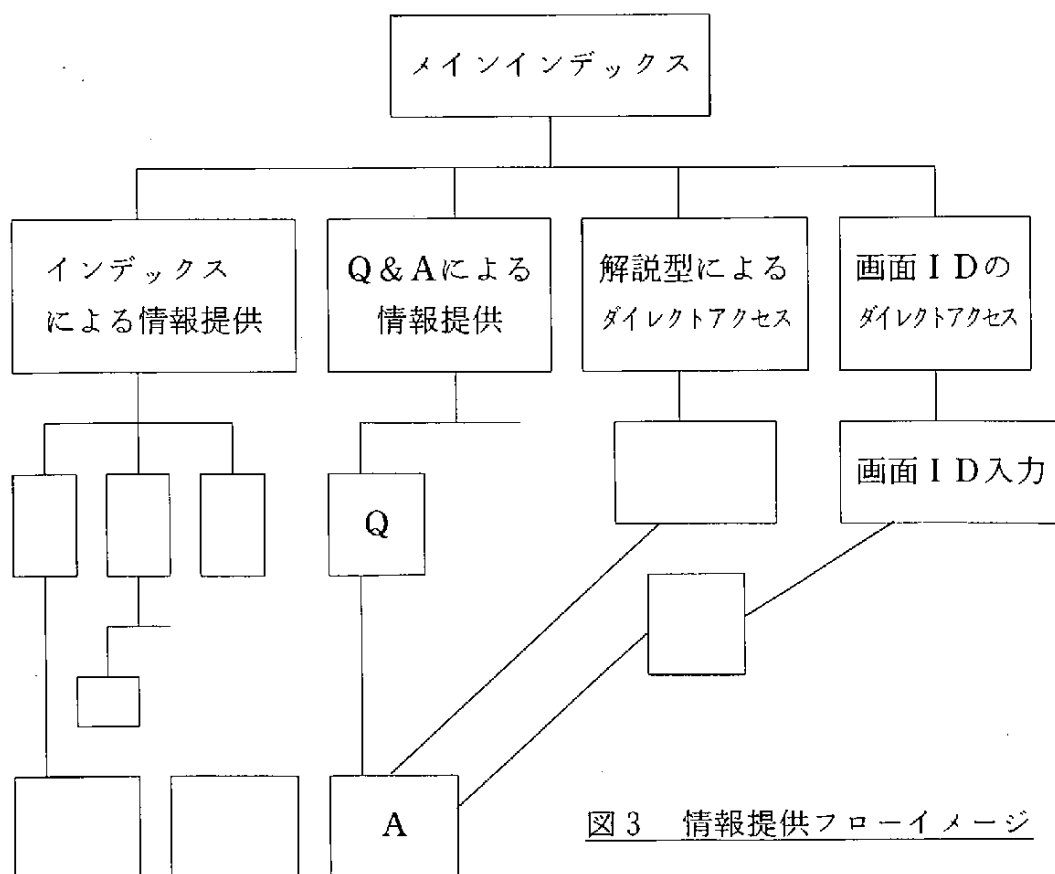


図3 情報提供フローイメージ

陶器

表4. 検索項目一覧

1 陶器の解説

- 1 沖縄の陶芸 (概要/あらまし)
 - ① 歴史
- 2 技術と技法
- 3 南の窯 (荒焼) と東の窯 (上焼)
- 4 陶土 (白土/赤土)
- 5 釉薬 (クスイ)
- 6 製造工程概略
- 7 形と美
 - ① あらまかい、まかい
 - ② からから
 - ③ 抱瓶 (たちびん)
 - ④ 嘉瓶 (ゆしびん)
 - ⑤ 急須 (ちゅーかー)
 - ⑥ 花瓶 (花生)
 - ⑦ 蓋物 (ふたもの)
 - ⑧ 大皿
 - ⑨ 獅子 (しーさー)

2 陶器を見たい

- | | | |
|------------|------------|-----|
| 1 製造元 (窯場) | 所在地/問い合わせ先 | |
| 2 販売店 | 所在地/問い合わせ先 | |
| 3 博物館 | 所在地/問い合わせ先 | マップ |
| 4 組合 | 所在地/問い合わせ先 | |

3 陶器について調べたい

- | | | |
|--------|------------|-----|
| 1 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 図書館 | 所在地/問い合わせ先 | マップ |
| 3 博物館 | 所在地/問い合わせ先 | マップ |

4 陶芸を習いたい

- | | |
|-----------|------------|
| 1 個人指導 | 所在地/問い合わせ先 |
| 2 カルチャー教室 | 所在地/問い合わせ先 |

漆器

1 漆器の解説

- 1 概要 (歴史／あらし)
- 2 漆工芸と琉球王府
- 3 琉球漆器の新しい時代
- 4 技術と技法
 - ① 木地材 素地 (きじ)
 - ② 下地
 - ③ 塗り
 - ④ 加飾の技法
 - 1 堆錦 (すいきん)
 - 2 螺鈿 (らでん)
 - 3 沈金 (ちんきん)
 - 4 その他の加飾法
 - 5 蒔絵 (まきえ)
 - 6 漆絵 (うるしえ)
- 5 形と美
 - ① 会席膳
 - ② 盆類
 - ③ 椀類
 - ④ 東道盆 (とうんだいぶん)
 - ⑤ 重箱
 - ⑥ 提重 (さげじゅう)
 - ⑦ 湯庫 (たーくー)

2 漆器を見たい

- | | | |
|-------|------------|-----|
| 1 製造元 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 2 販売店 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 3 博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 4 その他 | 所在地／問い合わせ先 | |

3 漆器について調べたい

- | | | |
|--------|------------|-----|
| 1 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |

4 漆器芸を習いたい

- | | |
|------|------------|
| 1 学校 | 所在地／問い合わせ先 |
|------|------------|

織物

1 織物の解説

- 1 沖縄の織物（概説）
- 2 琉球絣
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 絣の種類（図柄）
 - 1 経絣・絣柄を経糸のみであらわしたもの
 - 2 緯絣・絣柄を緯糸のみであらわしたもの
 - 3 経緯絣・絣柄を経緯両方の糸によってあらわしたもの
 - ⑤ 製造工程概略
- 3 首里の伝統織物
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 製造工程概略
- 4 読谷山花織
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 製造工程概略
- 5 芭蕉布
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 製造工程概略
- 6 久米島紬
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 製造工程概略
- 7 宮古上布
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法
 - ④ 製造工程概略
- 8 八重山上布・ミンサー帯
 - ① 概要
 - ② 歴史

- ③ 技術と技法
- 9 与那国の織物
 - ① 概要
 - ② 歴史
 - ③ 技術と技法

2 織物を見たい

- | | | | |
|---|---------|------------|-----|
| 1 | 製造元 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 2 | 販売店 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 3 | 博物館／資料館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 4 | 保存団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

3 織物について調べたい

- | | | | |
|---|-----------|------------|-----|
| 1 | 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 | 官庁資料室／図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 | 資料館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 4 | 博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 5 | 保存団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

4 織物を習いたい

- | | | |
|---|----------|------------|
| 1 | 各種組合／製造元 | 所在地／問い合わせ先 |
|---|----------|------------|

紅 型

1 紅型の解説

- 1 概要
- 2 歴史（あらし）
- 3 紅型の技術と技法、工程
 - ① 紅型の技術、技法を工程順に解説
 - ② 色
 - ③ 隈どり
- 4 紅型の美
 - ① 色、模様構成
 - ② 筒描きの紅型の模様
- 5 紅型の製造工程概略図

2 紅型を見たい

- | | | |
|-------|------------|-----|
| 1 製造元 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 2 販売店 | 所在地／問い合わせ先 | |
| 3 博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |

3 紅型について調べたい

- | | | |
|-------------|--------------|-----|
| 1 参考文献 | —————→参考文献一覧 | |
| 2 図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 資料館／博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 4 保存団体／協同組合 | 所在地／問い合わせ先 | |

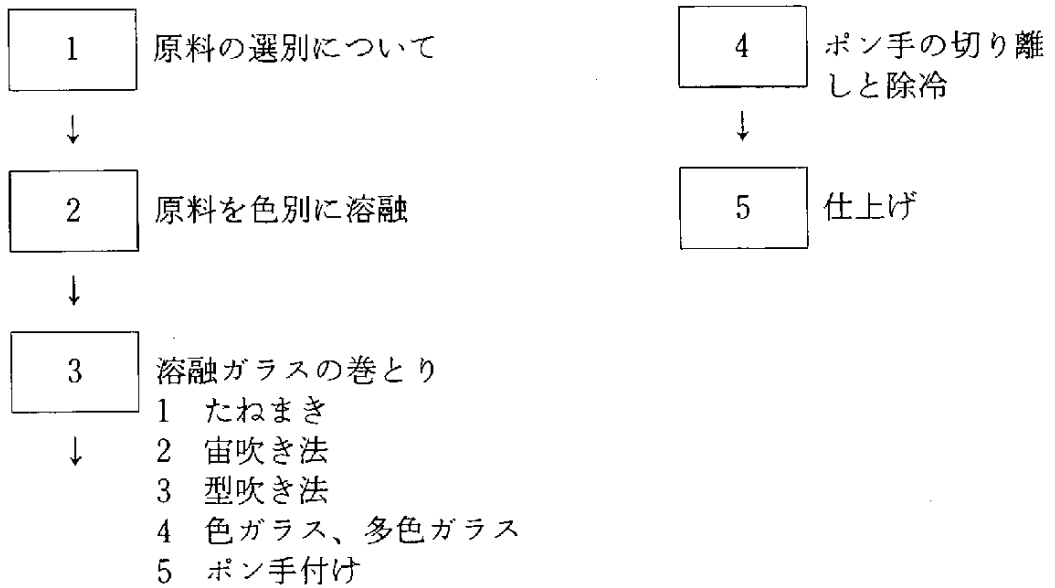
4 紅型を習いたい

- | | |
|-------------|------------|
| 1 製造元 | 所在地／問い合わせ先 |
| 2 カルチャーセンター | 所在地／問い合わせ先 |

琉球ガラス

1 琉球ガラスの解説

- 1 概要（琉球ガラスの特徴）
- 2 歴史（あらまし）
- 3 琉球ガラスの製法
 - ① 琉球ガラスの技術と技法
 - ② 製造工程



2 琉球ガラスを見たい

- 1 製造元（ガラス工場） 所在地／問い合わせ先
- 2 販売店 所在地／問い合わせ先

3 琉球ガラスについて調べたい

- 1 参考文献 → 参考文献一覧
- 2 図書館 所在地／問い合わせ先 マップ
- 3 組合 所在地／問い合わせ先

4 琉球ガラス製造を体験したい

- 1 ガラス工場 所在地／問い合わせ先

民俗芸能

1 沖縄の民俗芸能の解説と主な民俗芸能

- 1 民俗芸能の解説（年中行事との関わり、特色など）
- 2 郷土の芸能（年中行事）
 - ① エイサー
 - ② 臼太鼓（うしでーく）
 - ③ 巻踊り
 - ④ 獅子舞
- 3 郷土の芸能（本土系・南方系）
 - ① 二十日正月祭り（ジュリウマまつり）
 - ② 京太郎（ちょんだらー）
 - ③ 南島（ふえーぬしま）
- 4 郷土の芸能（中国系）
 - ① 打花鼓（たーふあくー）
- 5 郷土の芸能（宮古）
 - ① クイチャー
- 6 郷土の芸能（石垣）
 - ① アンガマ

2 民俗芸能を観たい

- 1 エイサーを観たい
- 2 臼太鼓（うしでーく）を観たい
- 3 打花鼓（たーふあくー）を観たい
- 4 京太郎（ちょんだらー）を観たい
- 5 獅子舞を観たい
- 6 南島（ふえーぬしま）を観たい

3 民俗芸能について調べたい

- 1 参考文献 → 参考文献一覧
- 2 図書館 所在地／問い合わせ先
マップ
- 3 民俗芸能保存会（国指定・選定文化財関係） 所在地／問い合わせ先

4 民俗芸能を体験したい

- 1 個人指導 所在地／問い合わせ先
- 2 保存団体 所在地／問い合わせ先

組踊

1 組踊の解説と主な組踊

- 1 組踊の解説
- 2 組踊5組
 - ① 組踊5番解説
 - ② 二童敵討 (にどうてきうち)
 - ③ 執心鐘入 (しゅうしんかねいり)
 - ④ 銘苅子 (めかるしい)
 - ⑤ 女物狂 (おんなものぐるい)
 - ⑥ 孝行の巻 (こうこうのまき)
- 3 その他の組踊
 - ① その他の組踊解説
 - ② 手水の縁 (てみずのえん)
 - ③ 万歳敵討 (まんざいてきうち)
 - ④ 花売の縁 (はなうりのえん)

2 組踊を観たい

- | | |
|-----------|------------|
| 1 組踊の上演 | 所在地／問い合わせ先 |
| 2 伝統組踊保存会 | 所在地／問い合わせ先 |
| 3 その他の団体 | 所在地／問い合わせ先 |

3 組踊について調べたい

- | | | |
|---------|------------|-----|
| 1 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 官庁資料室 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 博物館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |

舞踊

1 舞踊の解説と主な舞踊

- 1 舞踊の解説（歴史、特色）
 - ① 古典舞踊
 - ② 雑踊り（ぞうおどり）
 - ③ 創作舞踊
- 2 古典踊り
 - ① かぎやで風節（かじゃでいふうぶし）
 - ② 特牛節
 - ③ 上り口説（ぬぶいくどうち）
 - ④ 下り口説（くだいくどうち）
 - ⑤ 高平良万歳（たかでえらまんざい）
 - ⑥ かせかけ
 - ⑦ 伊野波節（ぬふあぶし）
 - ⑧ 諸屯（しゅどうん）
 - ⑨ しゅんだう
- 3 雑踊り
 - ① 鳩間節
 - ② 谷茶前（たんちゃめー）
 - ③ 浜千鳥
- 4 創作踊り
 - ① 糸満乙女
 - ② 与那国旅情
 - ③ わたんじゃ舟

2 舞踊を観たい

- | | |
|----------------|------------|
| 1 上演劇場・ホール | 所在地／問い合わせ先 |
| 2 舞踊が観れる店 | 所在地／問い合わせ先 |
| 3 琉球舞踊の協会・公演団体 | 所在地／問い合わせ先 |

3 舞踊について調べたい

- | | | |
|----------------|------------|-----|
| 1 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 資料室・資料館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 琉球舞踊の協会・公演団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

民 謡

1 沖縄民謡の解説と主な沖縄民謡

- 1 沖縄民謡の解説
- 2 琉球民謡
 - ① ていんさぐの花
 - ② 安里屋ゆんた (あさどうやユンタ)
 - ③ 谷茶前 (たんちゃめえ)
 - ④ だんじゅかりゆし
- 3 宮古民謡
 - ① 漲水 (はりみず) のクイチャー
 - ② なりやまあやぐ
- 4 八重山民謡
 - ① トゥバラーマ
 - ② 与那国ションカネー

2 沖縄民謡を聴きたい

- | | |
|-------------|------------|
| 1 沖縄民謡が聴ける店 | 所在地／問い合わせ先 |
| 2 団体 | 所在地／問い合わせ先 |

3 沖縄民謡について調べたい

- | | | |
|--------|------------|-----|
| 1 参考文献 | → 参考文献一覧 | |
| 2 図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 3 団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

4 沖縄民謡を習いたい

- | | |
|-----------|------------|
| 1 個人指導 | 所在地／問い合わせ先 |
| 2 カルチャー教室 | 所在地／問い合わせ先 |
| 3 団体 | 所在地／問い合わせ先 |
| 4 その他 | 所在地／問い合わせ先 |

民話

1 沖縄民話の解説と主な沖縄民話

- 1 沖縄民話の解説
- 2 主な沖縄民話
 - ① 継子話 (ままこばなし)
 - ② 蛇婿入 (へびむこいり)
 - ③ 雀孝行 (すずめこうこう)
 - ④ 鬼餅由来 (ムーチャーゆらい)
 - ⑤ 尚円王 (しょうえんおう)
 - ⑥ モーイ親方 (モーイうゑーかた)
 - ⑦ 赤犬子 (あかいんこ)
 - ⑧ キジムナー
 - ⑨ 運玉義留 (うんたまぎるー)

2 沖縄民話を読みたい

- | | | |
|--------|------------|-----|
| 1 図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 2 保存団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

3 沖縄民話について調べたい

- | | | |
|----------------|--------------|-----|
| 1 参考文献 | —————→参考文献一覧 | |
| 2 県内各市町村刊行の民話集 | | |
| 3 図書館 | 所在地／問い合わせ先 | マップ |
| 4 保存団体 | 所在地／問い合わせ先 | |

沖 縄 Q & A

1 沖縄の自然をテーマ

地理、地形、海、環境、人口などをテーマに設問

2 沖縄の文化をテーマ

陶器、漆器、織物、紅型、琉球ガラス、民俗芸能など文化をテーマに設問

3 沖縄のくらしをテーマ

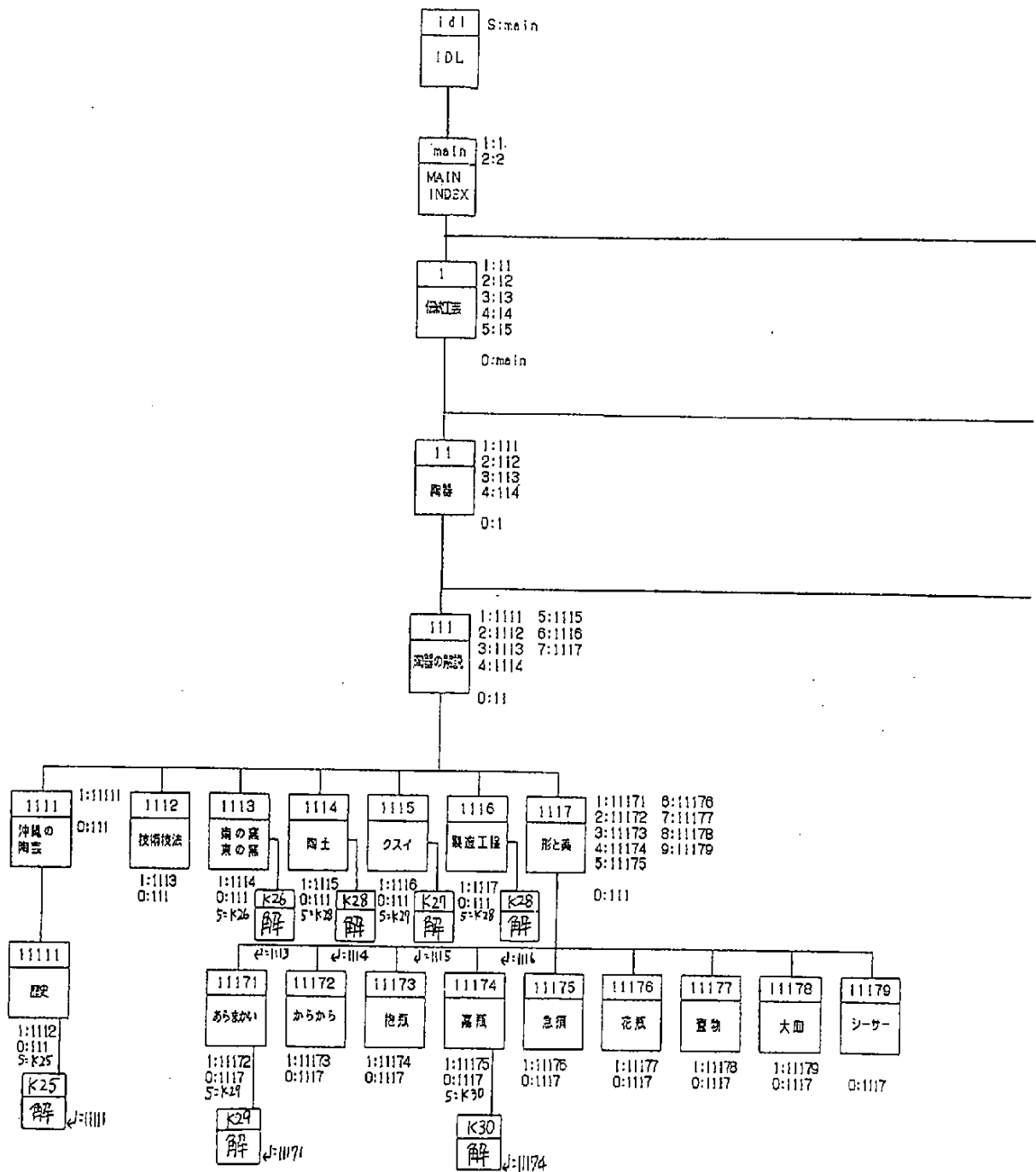
食事、風俗、ことば、家屋などをテーマに設問

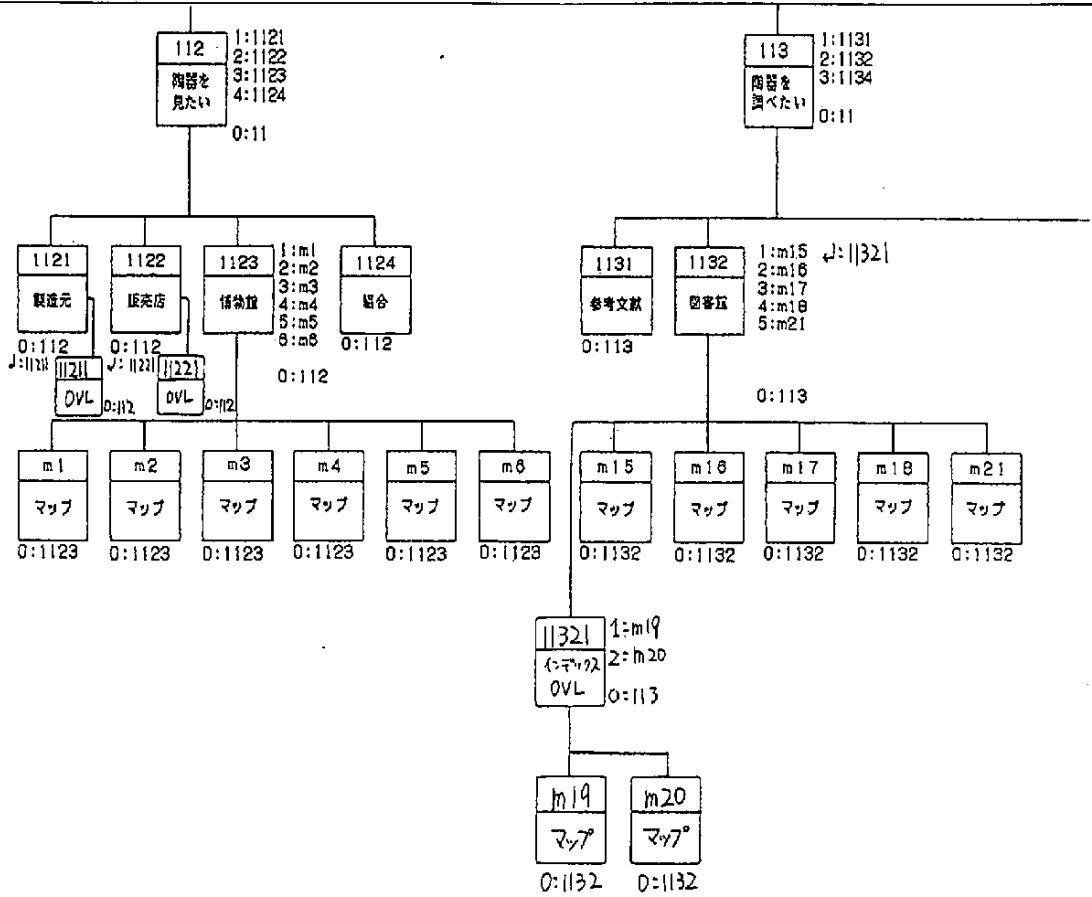
- 問題はそれぞれ10問程度とし、なるべくやさしい問題にする。
答えは3択形式にし、解答画面には解説を入れる。
Q&Aの途中からは、原則としてスキップはさせない。

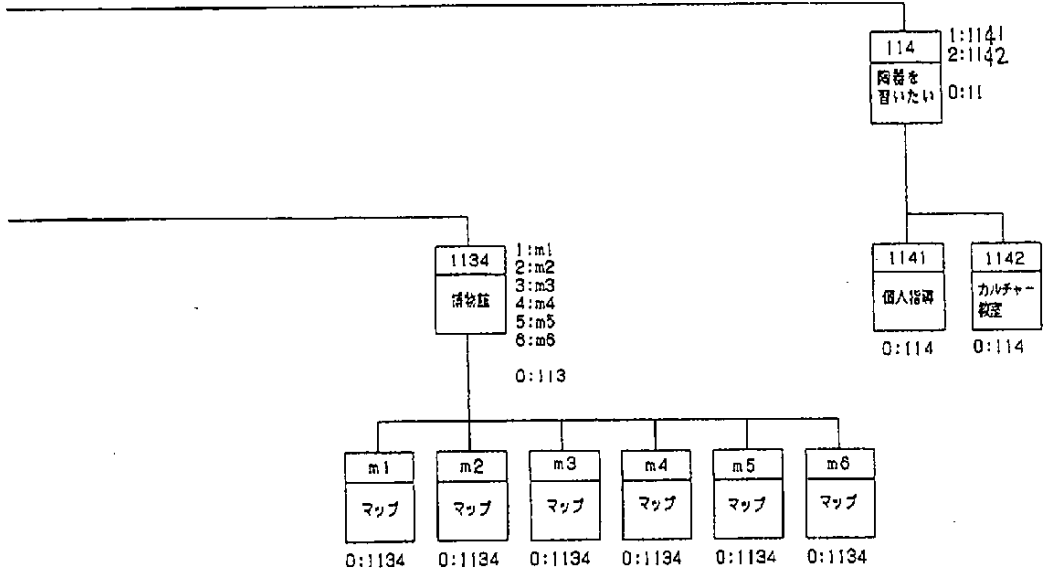
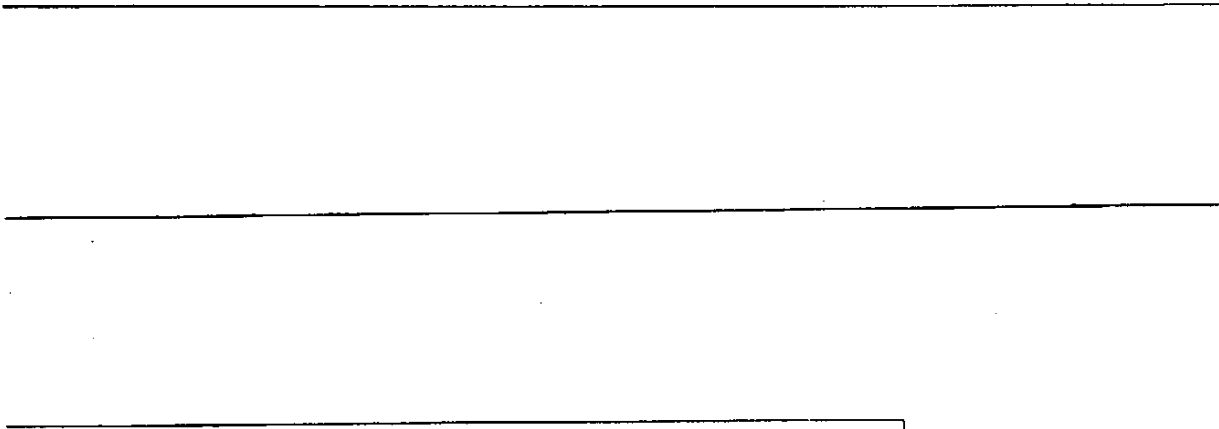
2. 3 検索画面

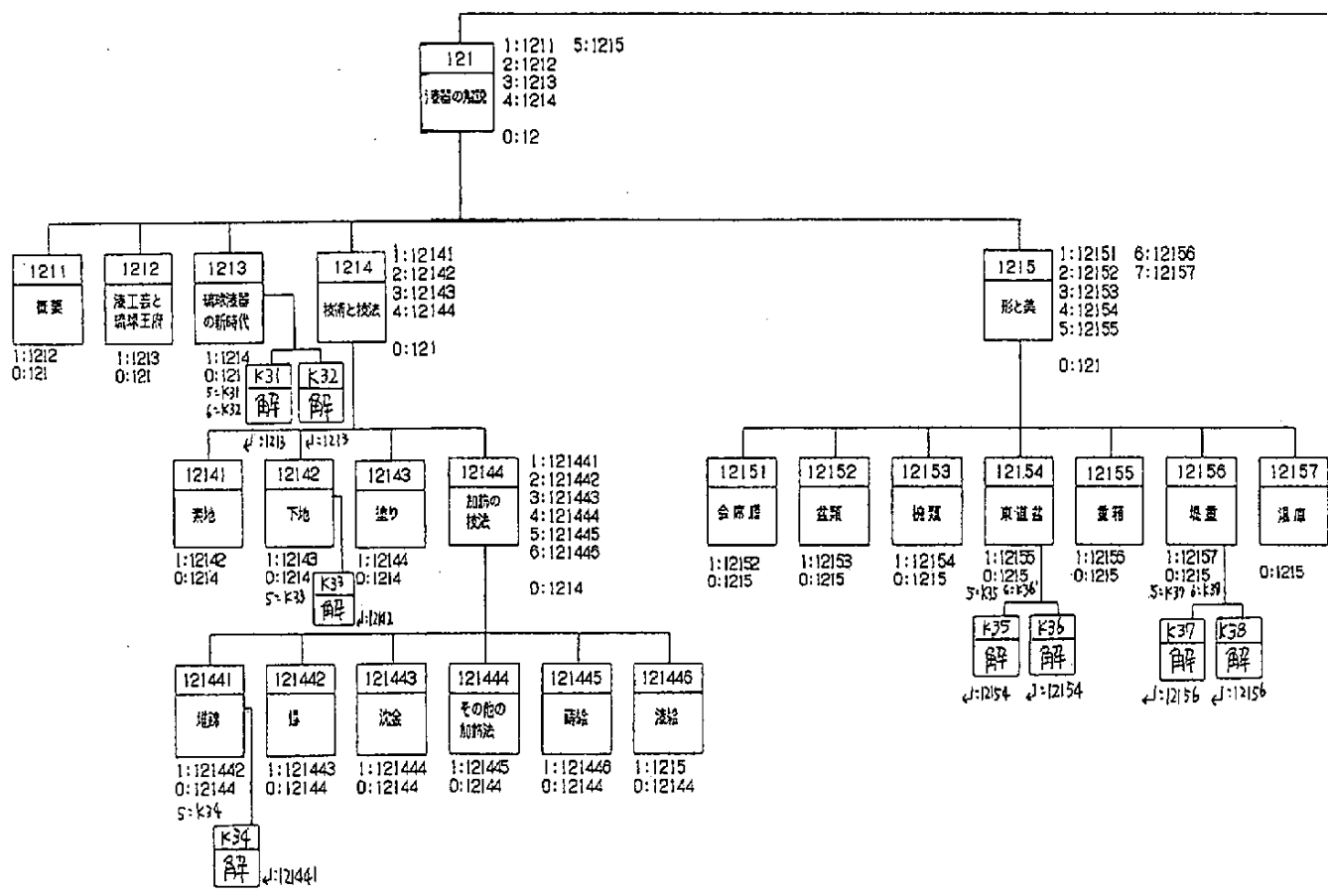
沖縄地域における文化データベースの実際の検索フローは以下の通りである。

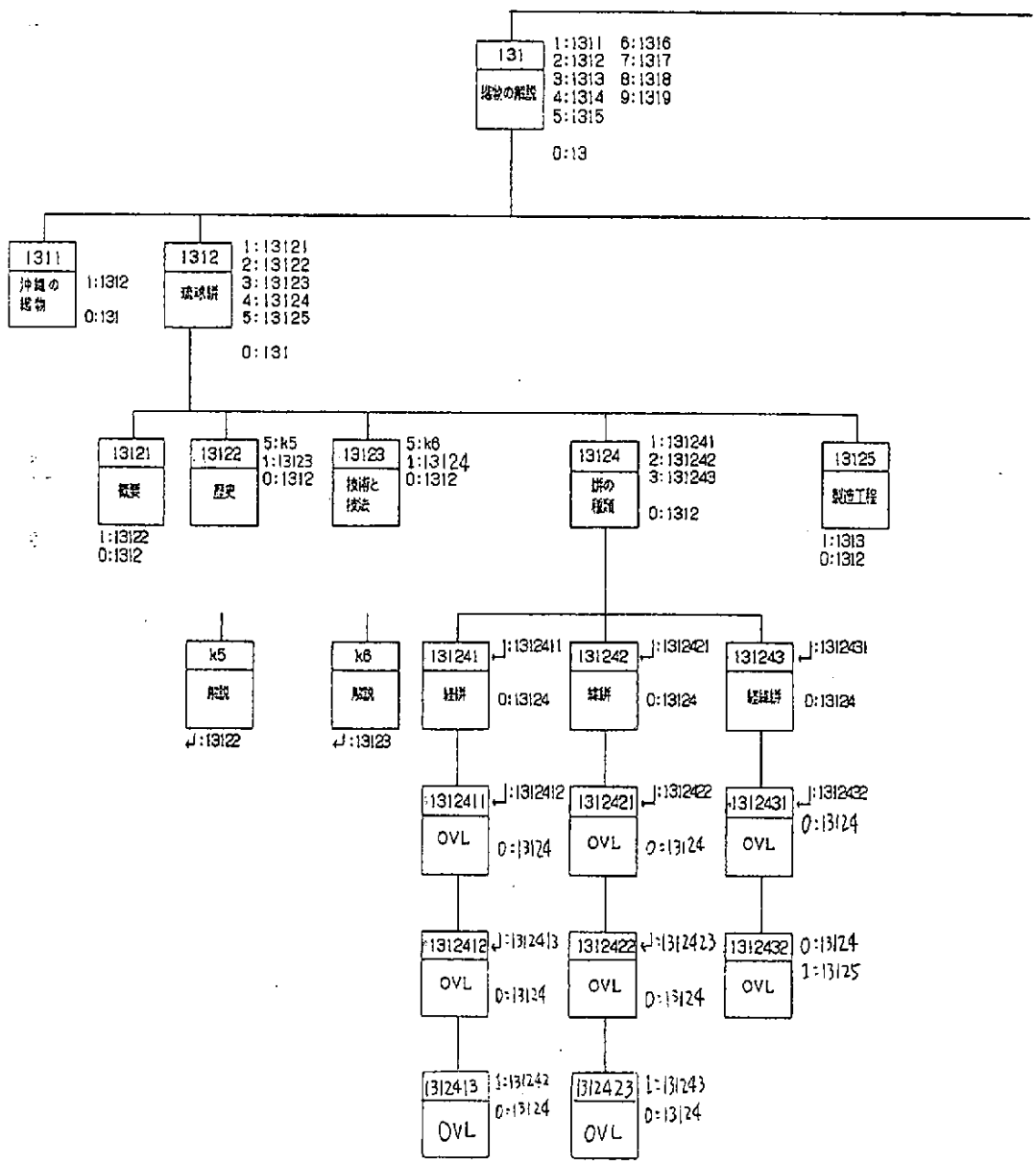
図4 検索フロー一覧

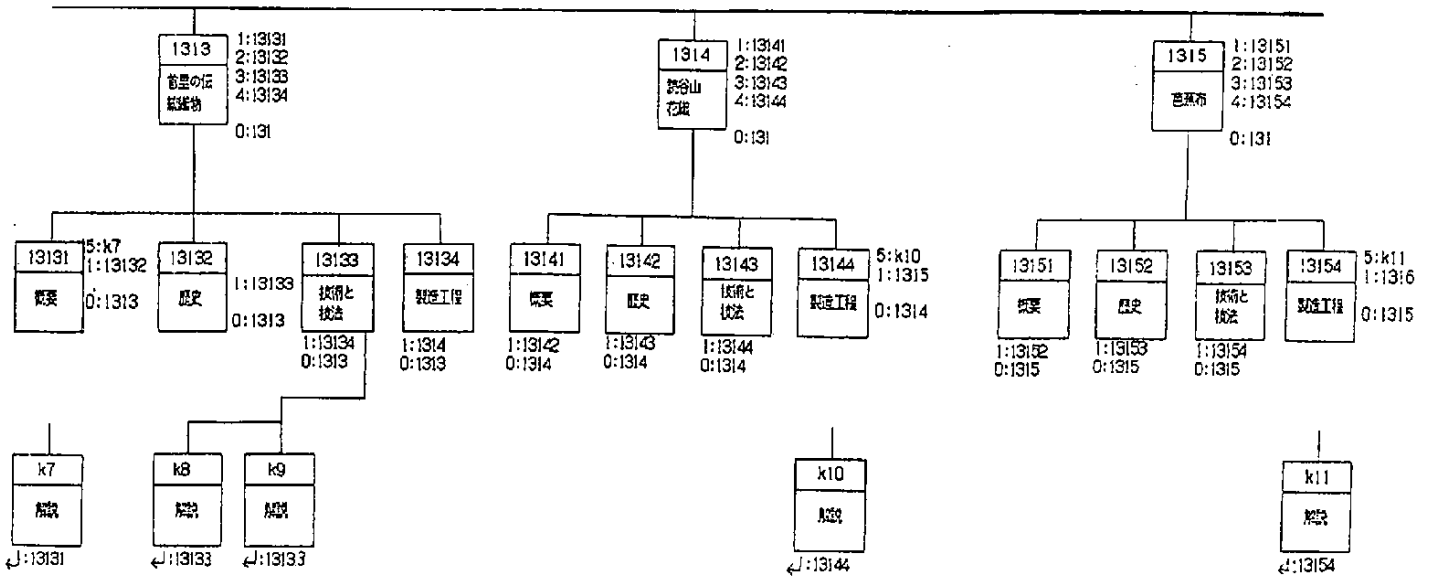


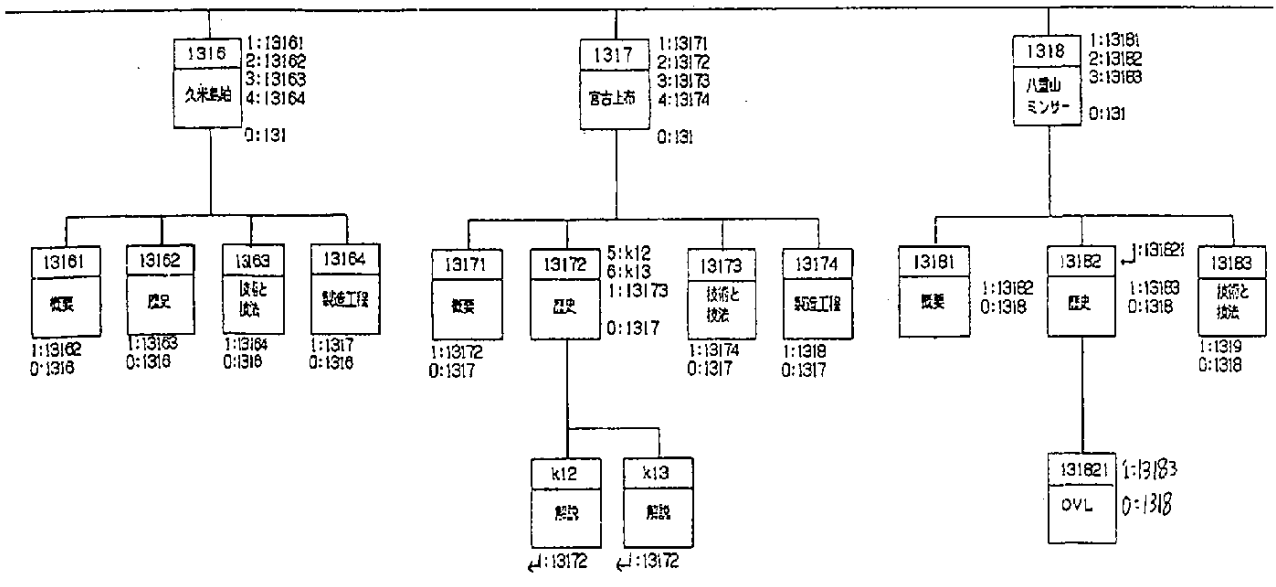


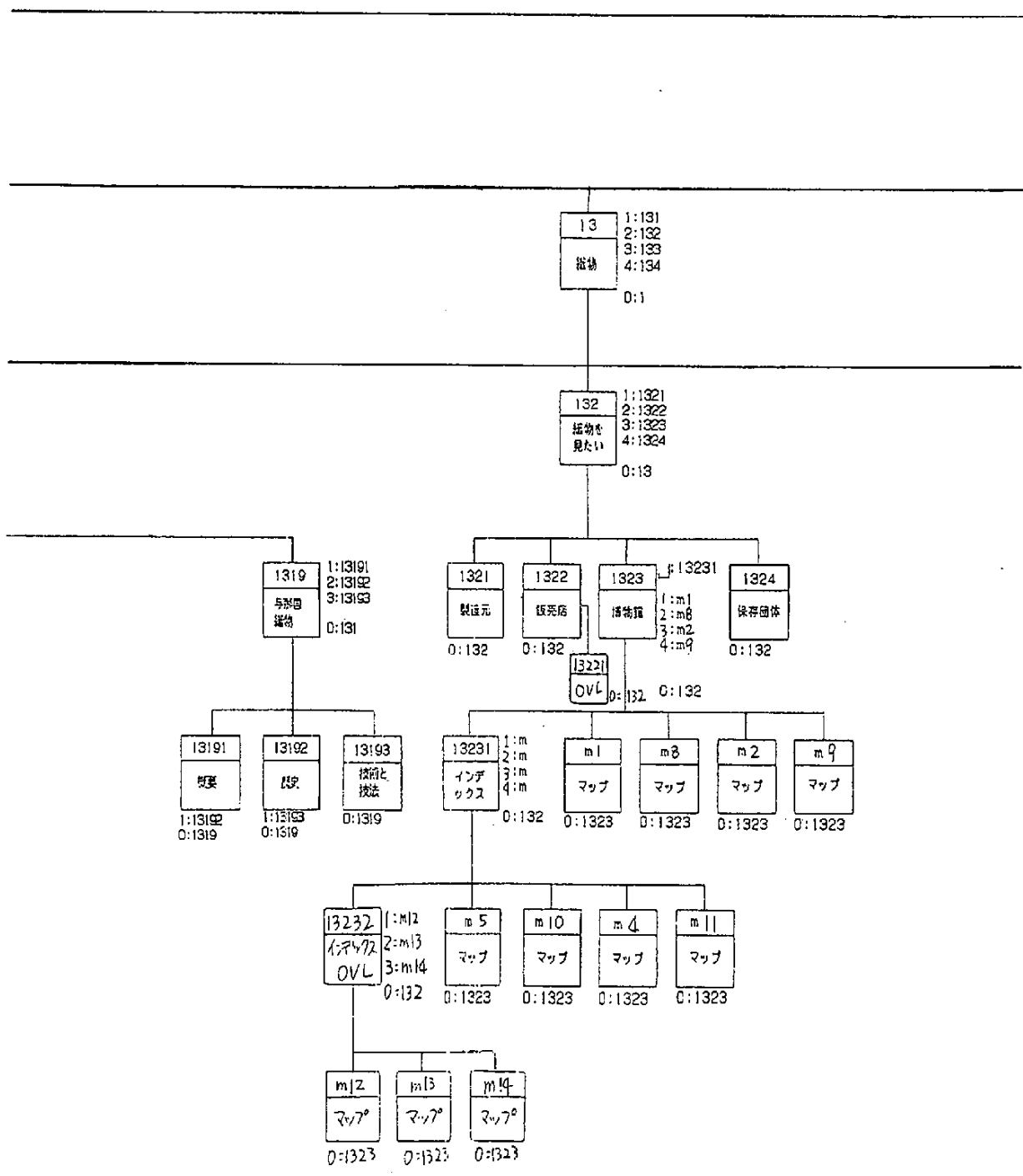


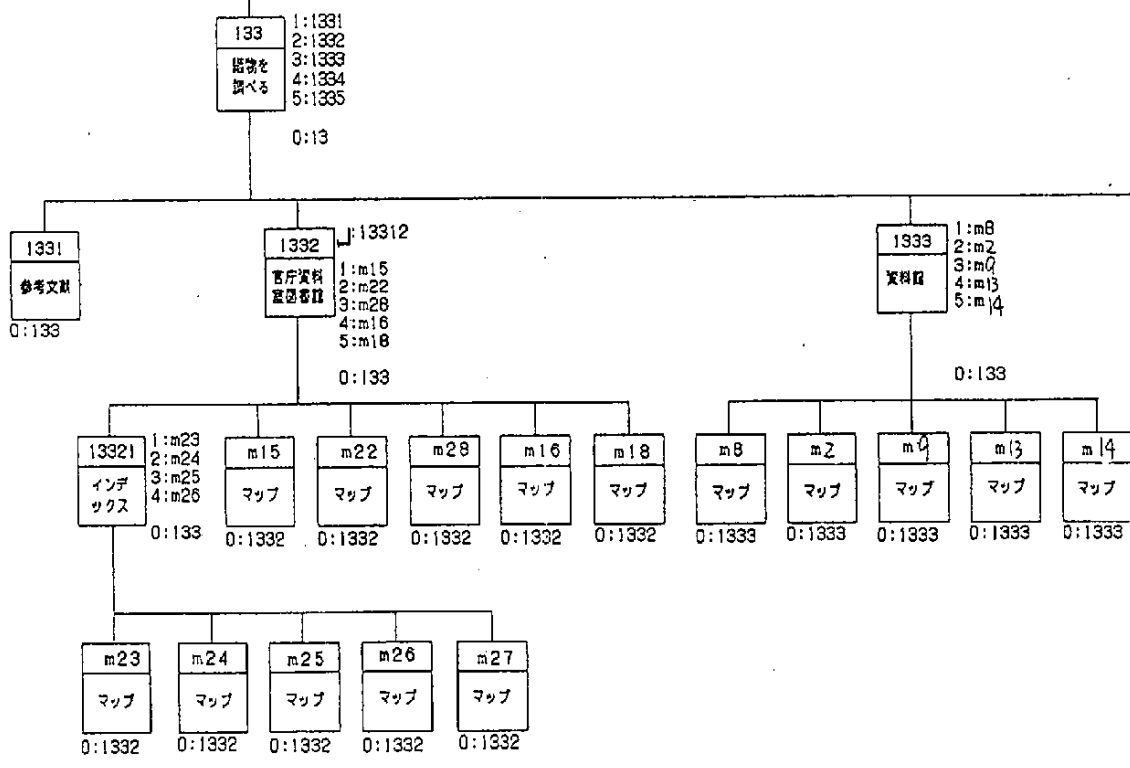


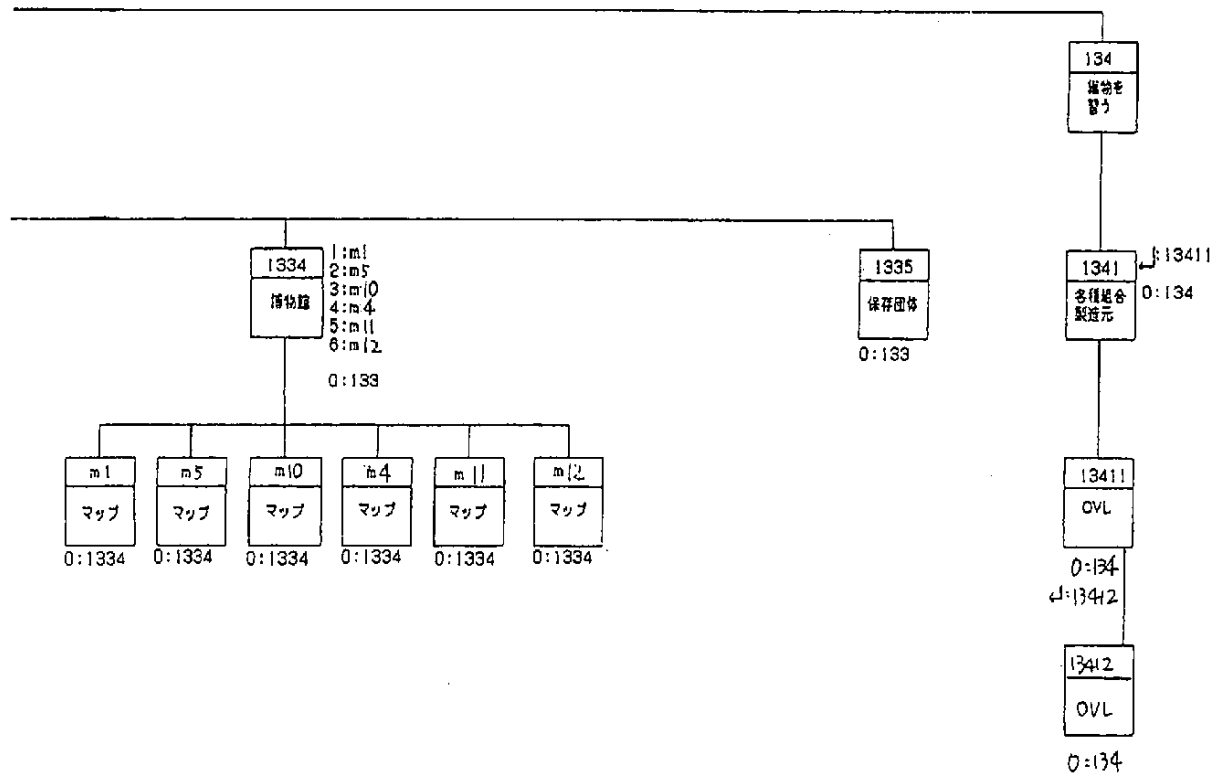


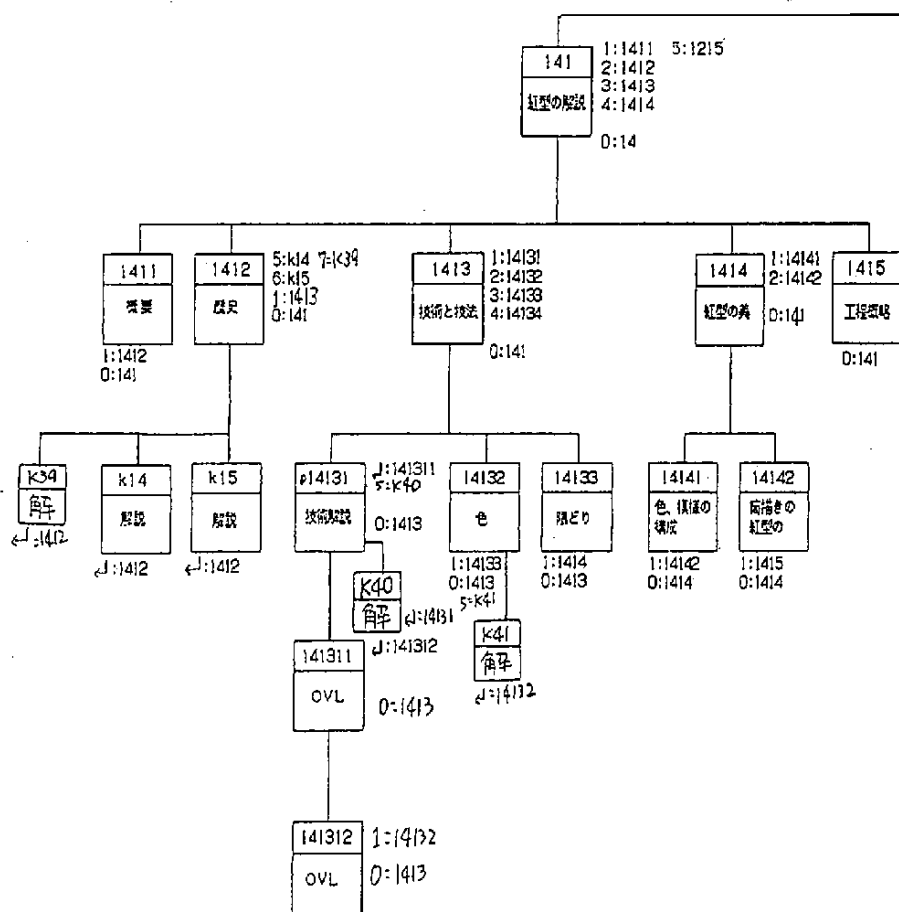


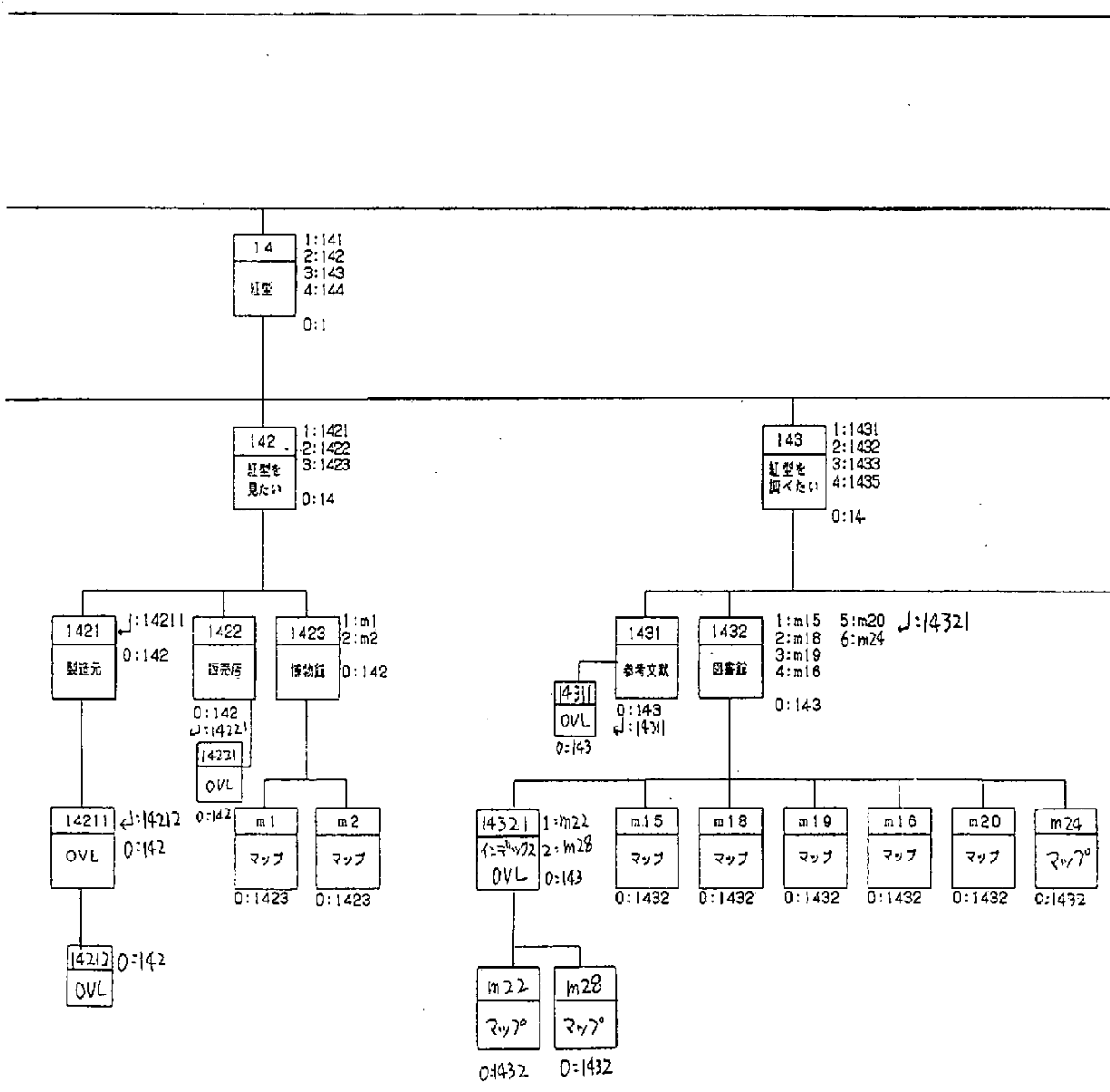


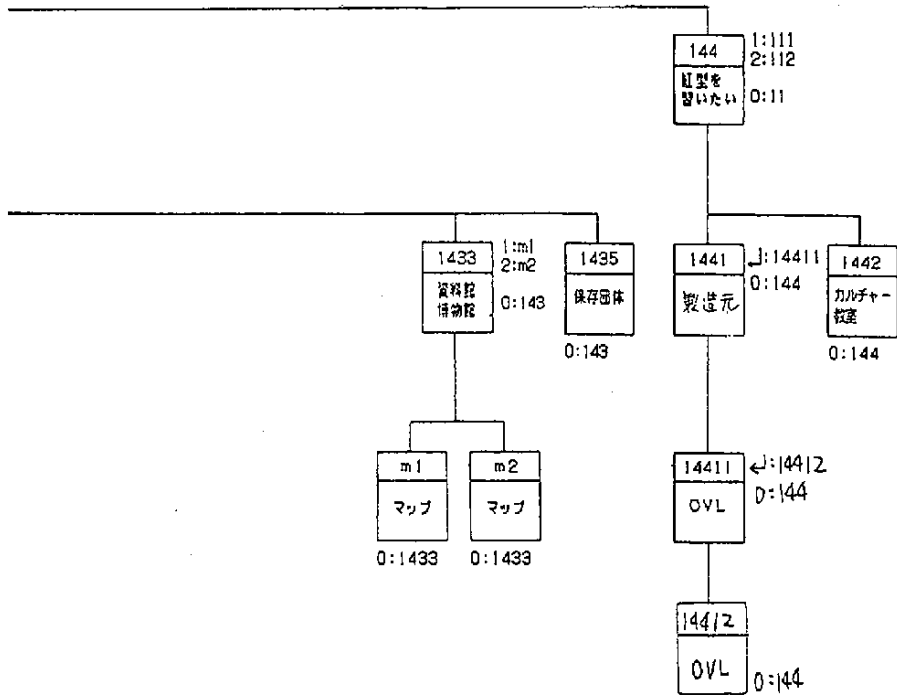


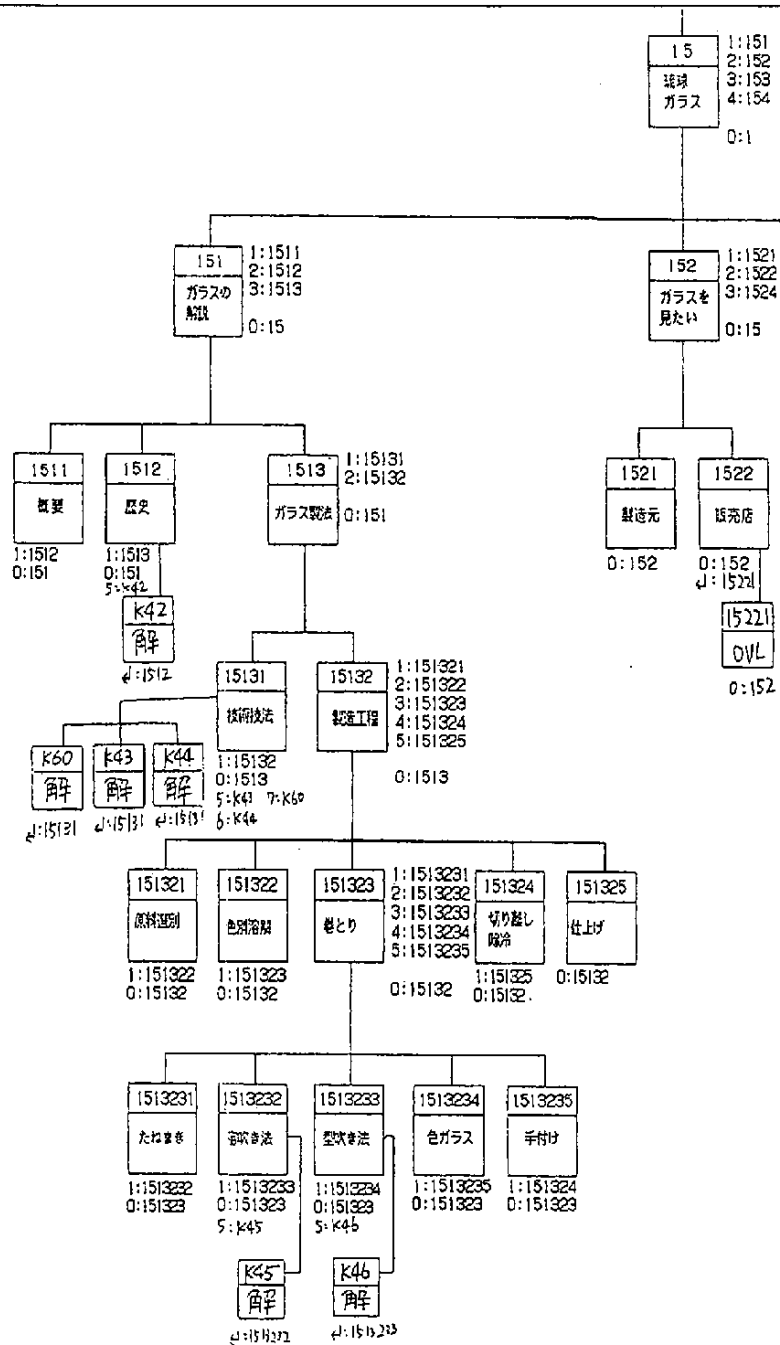


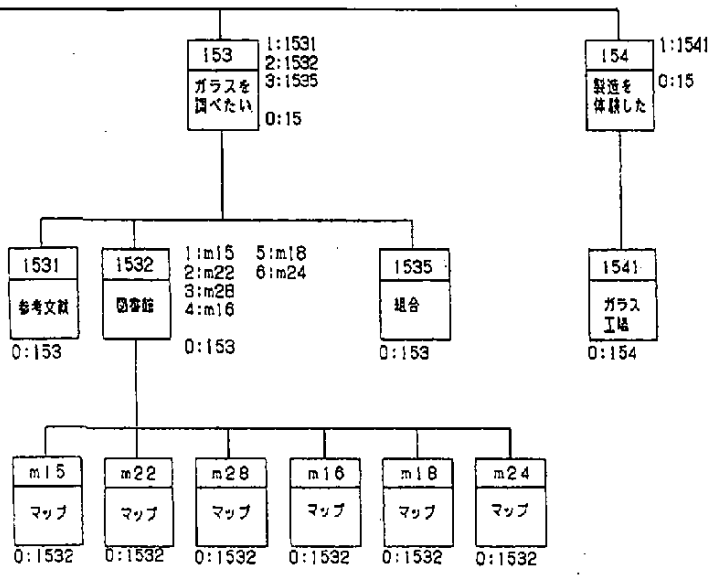


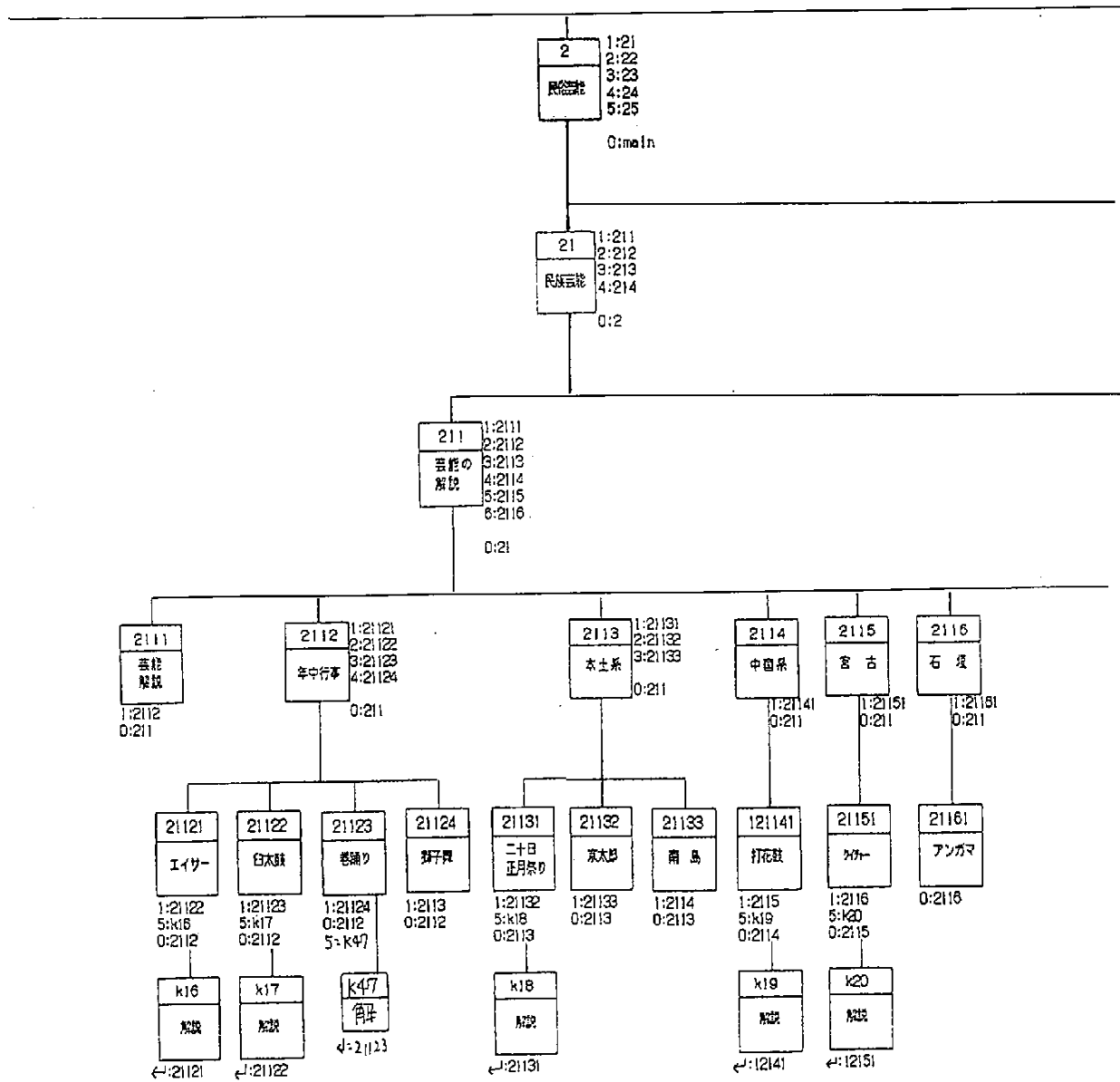


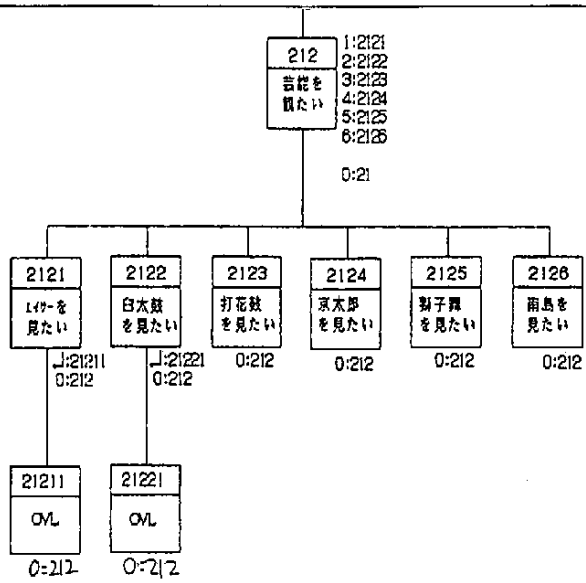


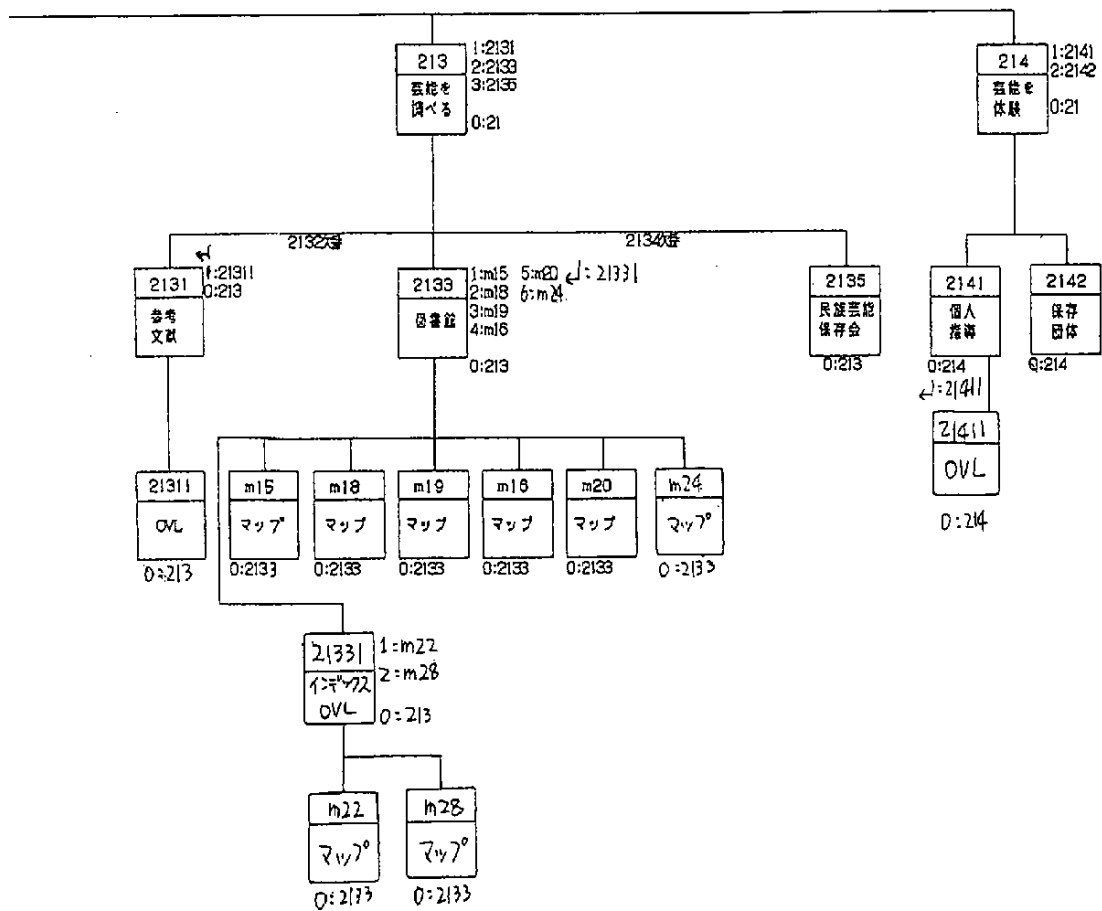


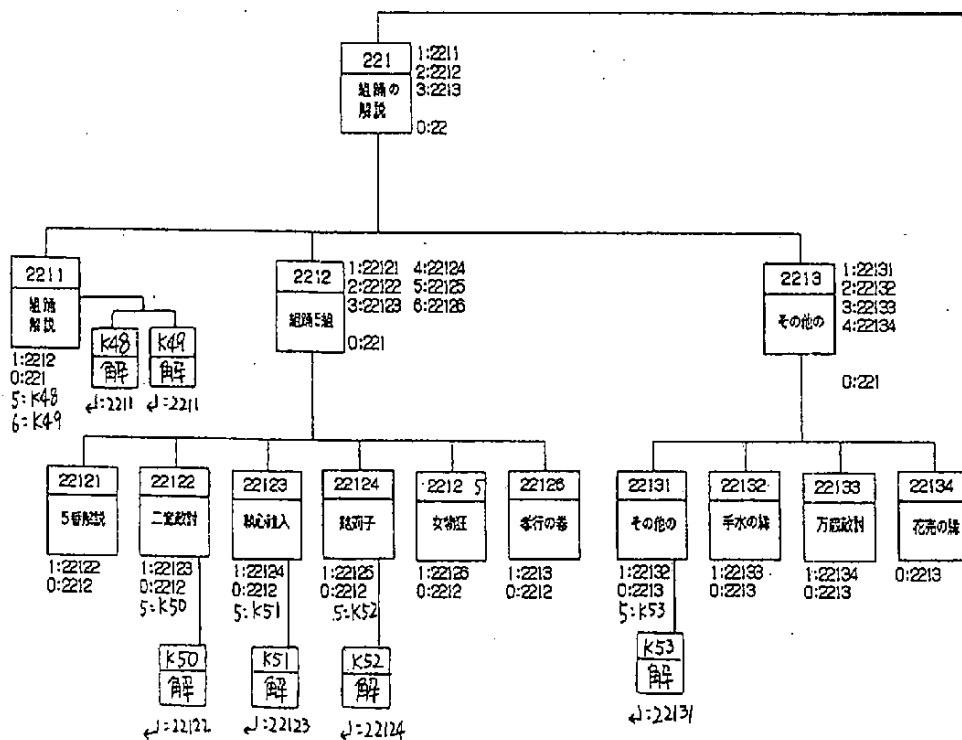


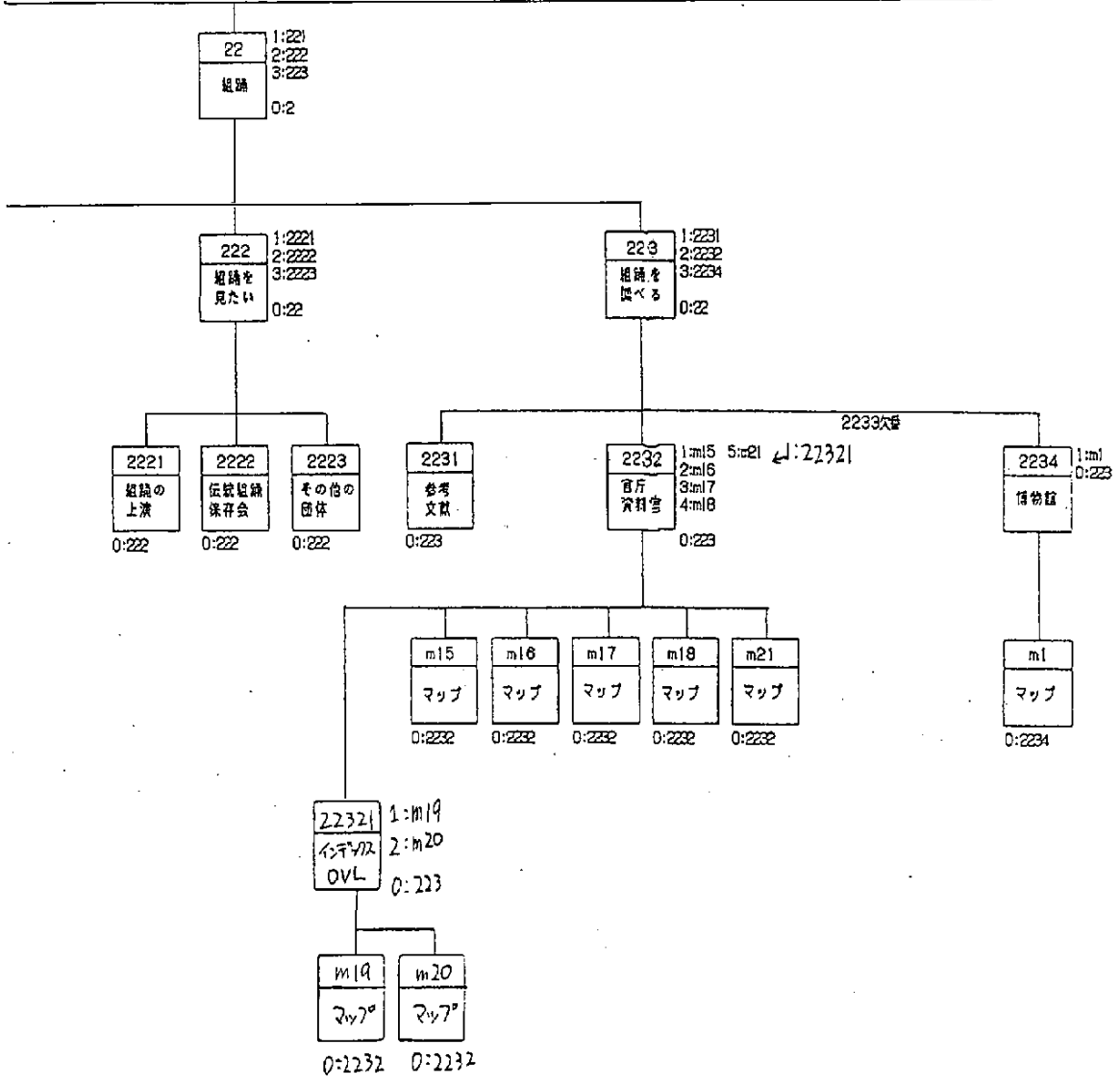


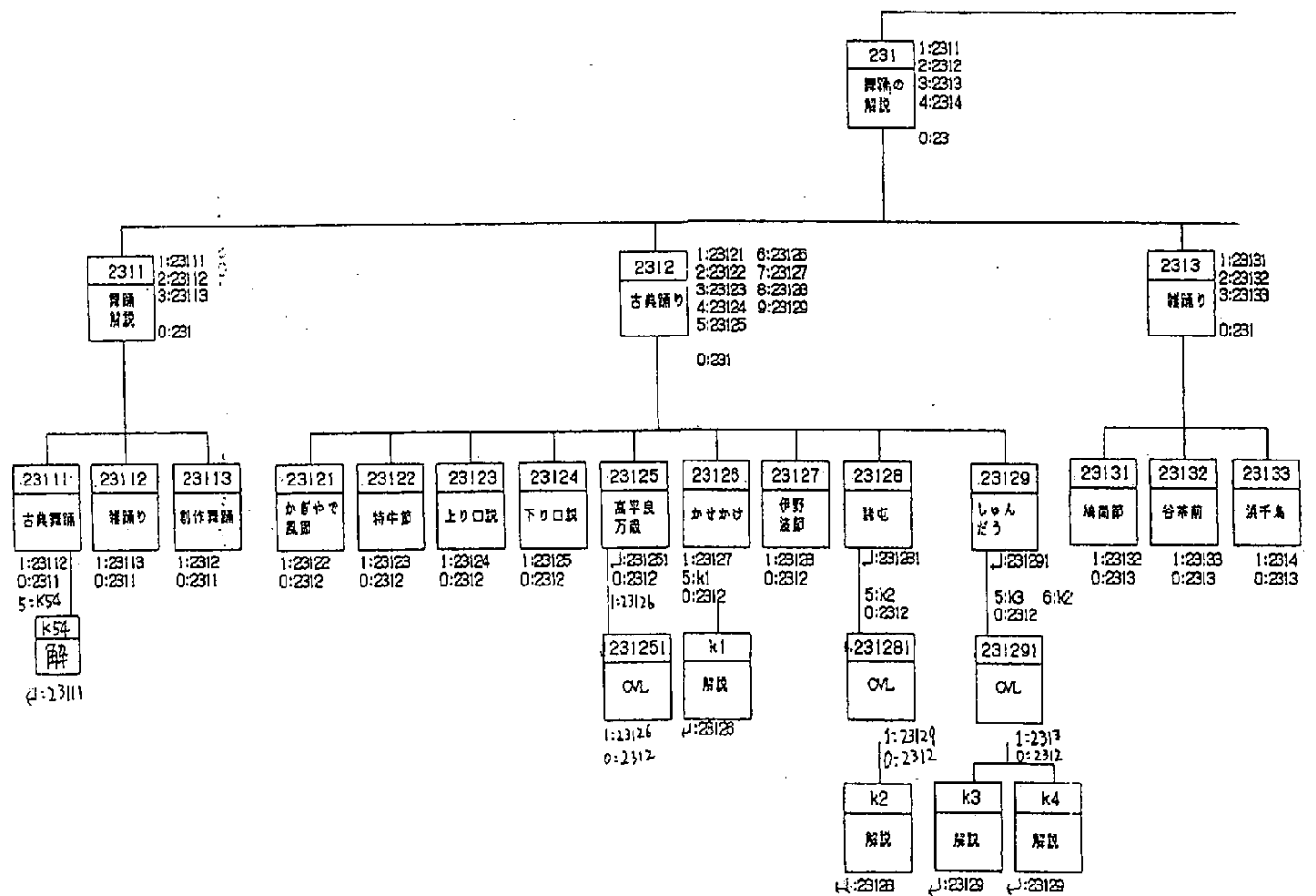


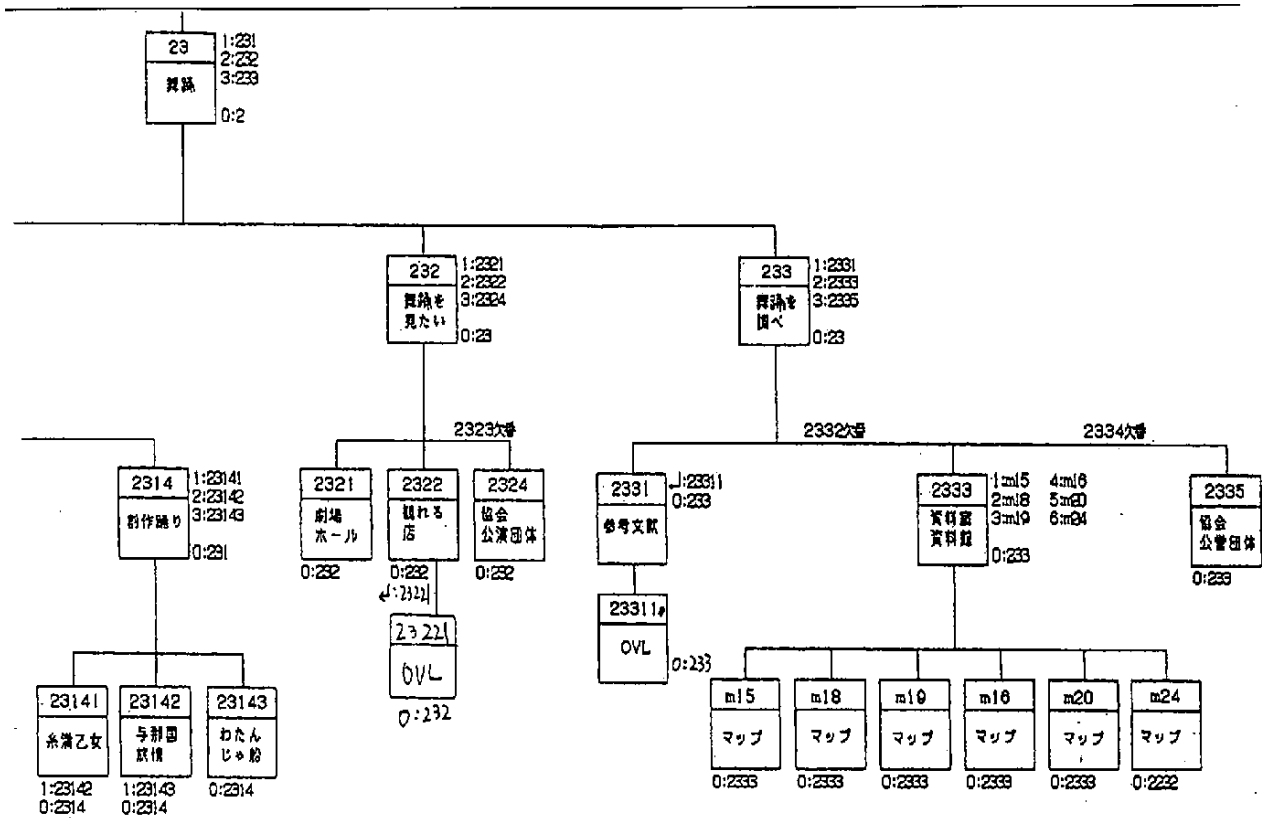


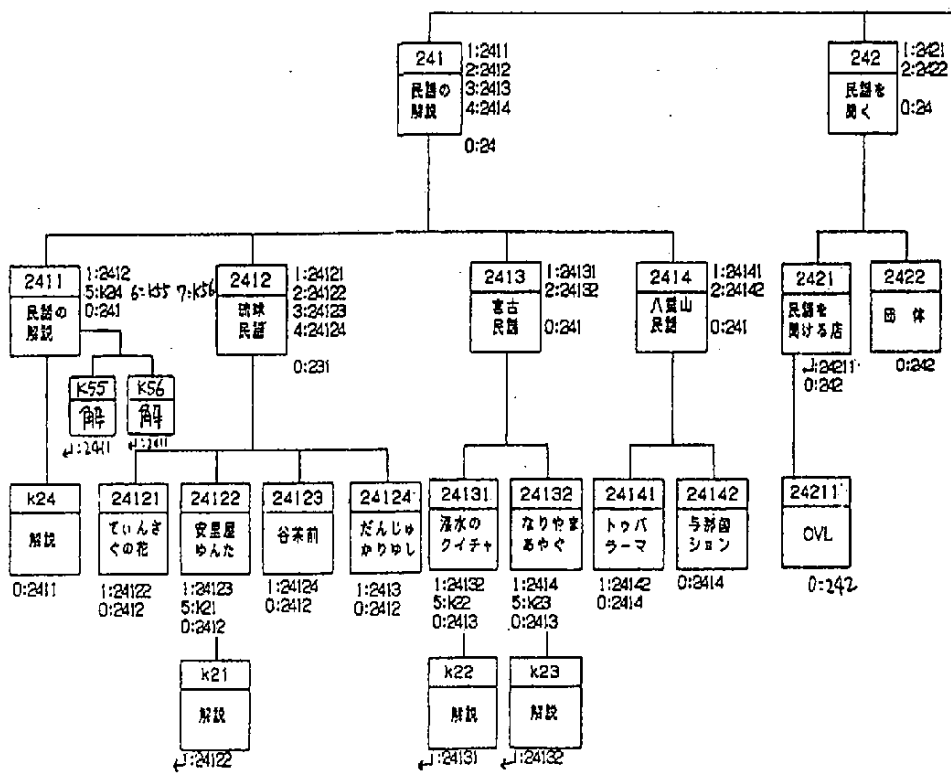


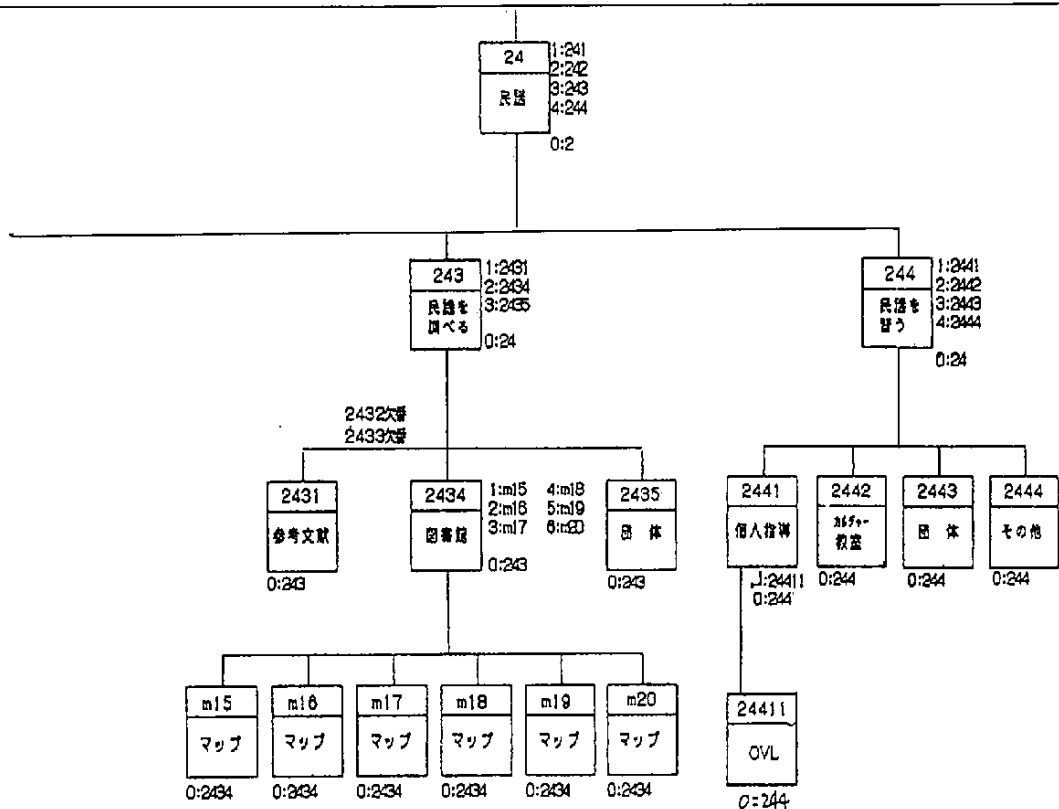


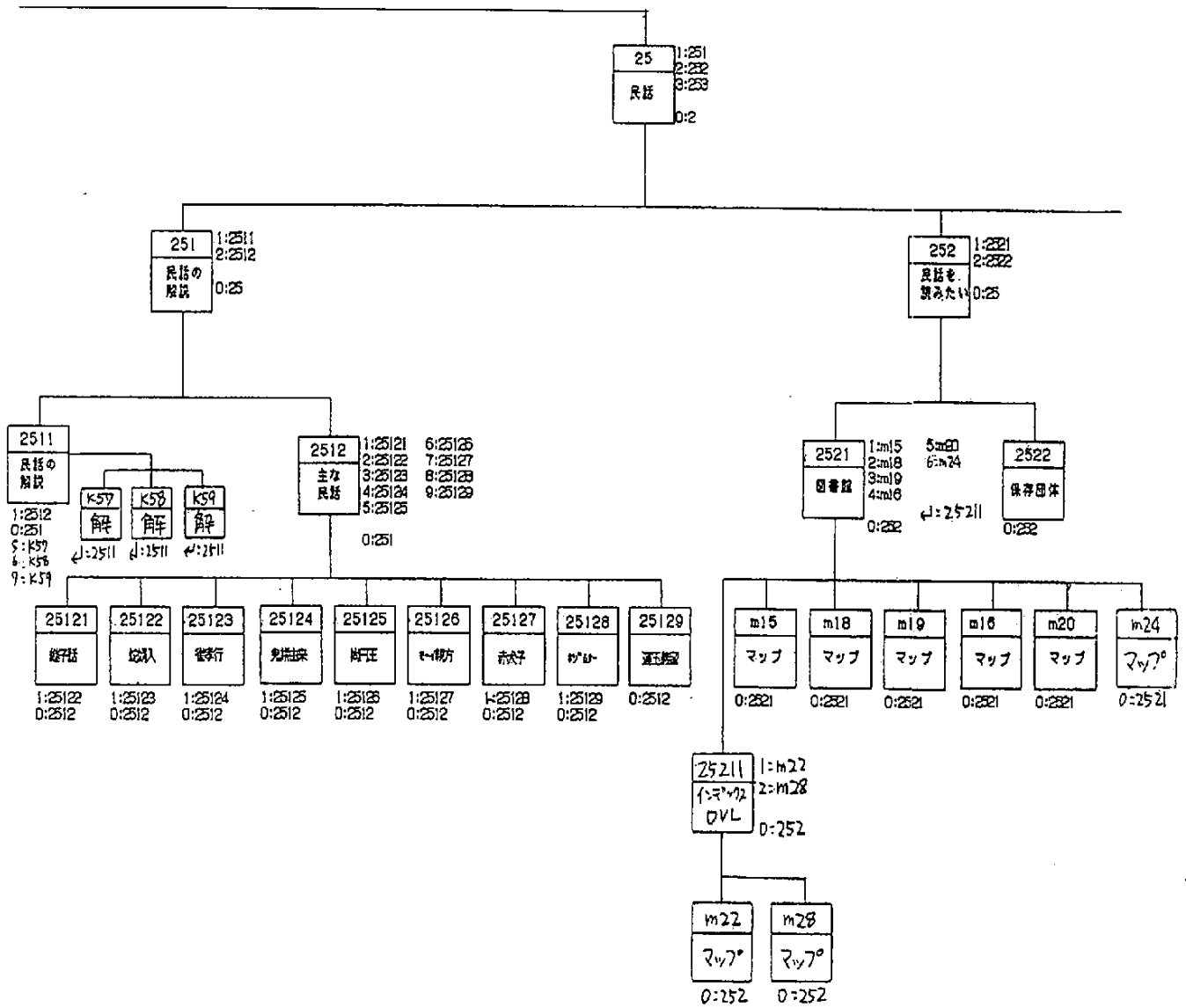


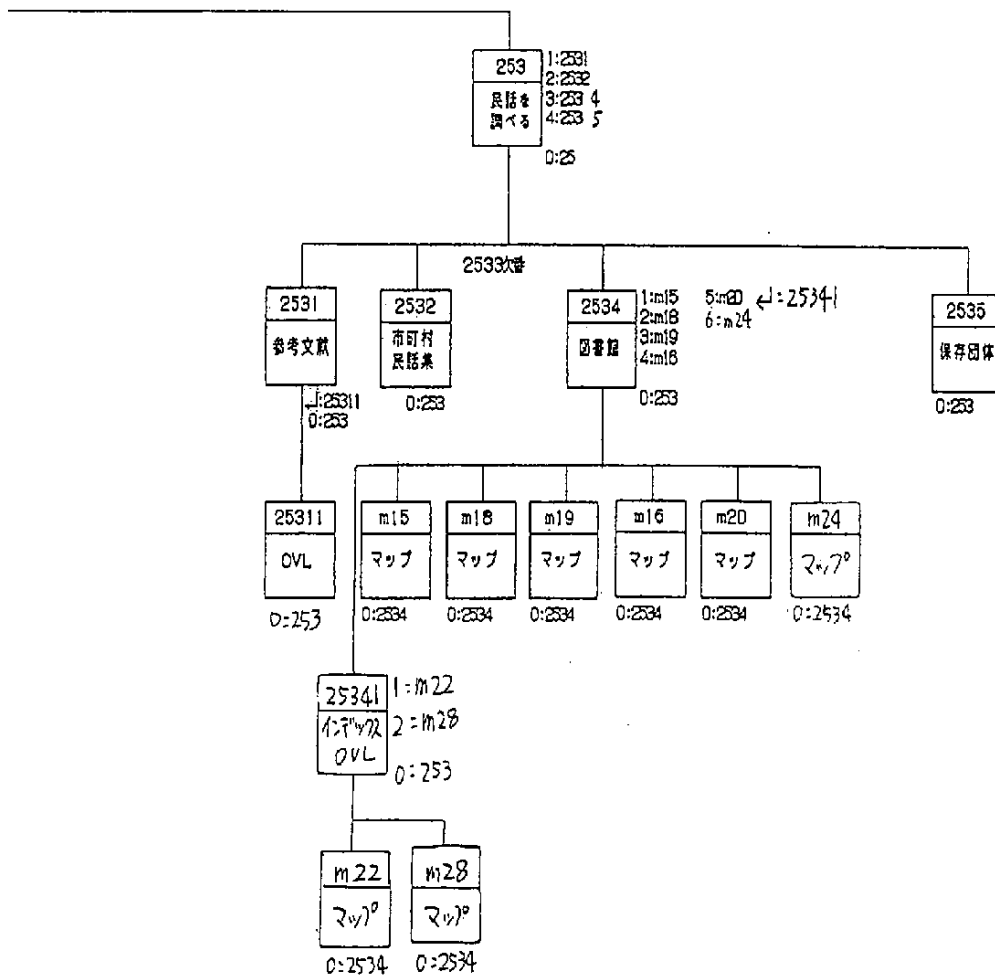














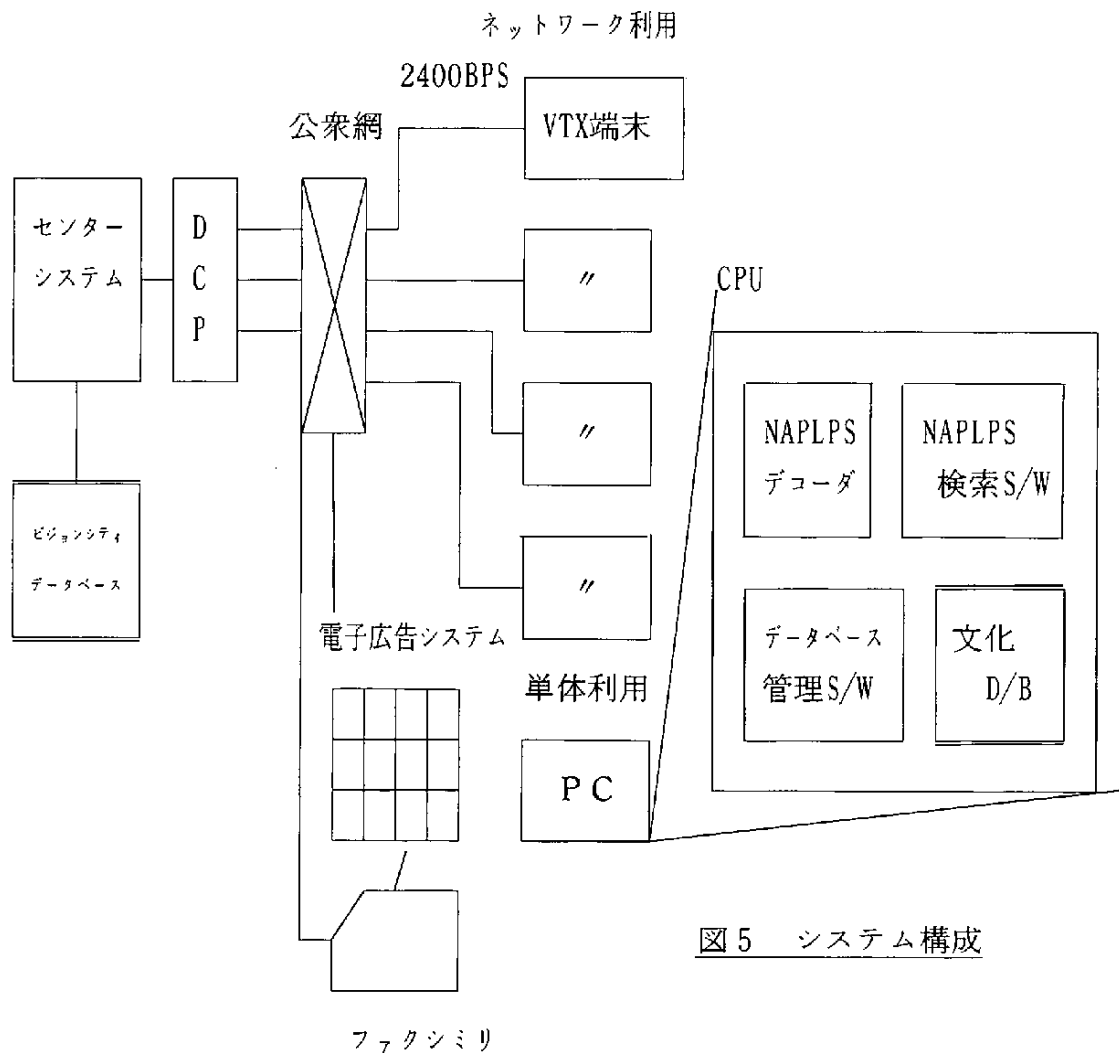
2. 4 システム構成

図5は、ビジョンシティのシステム構成である。ビジョンシティ全体の構成での沖縄地域における文化データベースの位置づけを明らかにしている。

以下、システムにおける位置づけをシステム構成、データベース構成について説明する。

(1) システム構成における位置づけ

ビジョンシティはNAPLPS方式を利用し、センターシステムとVTX（ビデオテックス）端末機を公衆網で接続し、情報を提供する広域型の情報ネットワークシステムである。沖縄地域における文化データベースはこのネットワークでの提供を中心に行うわけであるが、各地域でのイベント利用、遠隔地での回線費用軽減、家庭、学校内での教育利用、センター非稼働時間外での利用等を考慮し、PC（パーソナルコンピュータ）単体での利用可能なシステム構成となっている。



(2) データベース構成における位置づけ

図6は、ビジョンシティ内のデータベースの主な項目である。データベースは、観光、DO SPORTS、食べる・飲む等 観光情報、特に行動型遊覧型の情報が中心となっている。

沖縄地域における文化情報データベースは、文化志向型の観光情報並びに教育情報としての観点から産業振興、地域貢献を目的として作成されているが、本データベースの追加により、より観光データベースという単機能データベースから総合社会データベースとしての位置づけを明確にすることとなる。

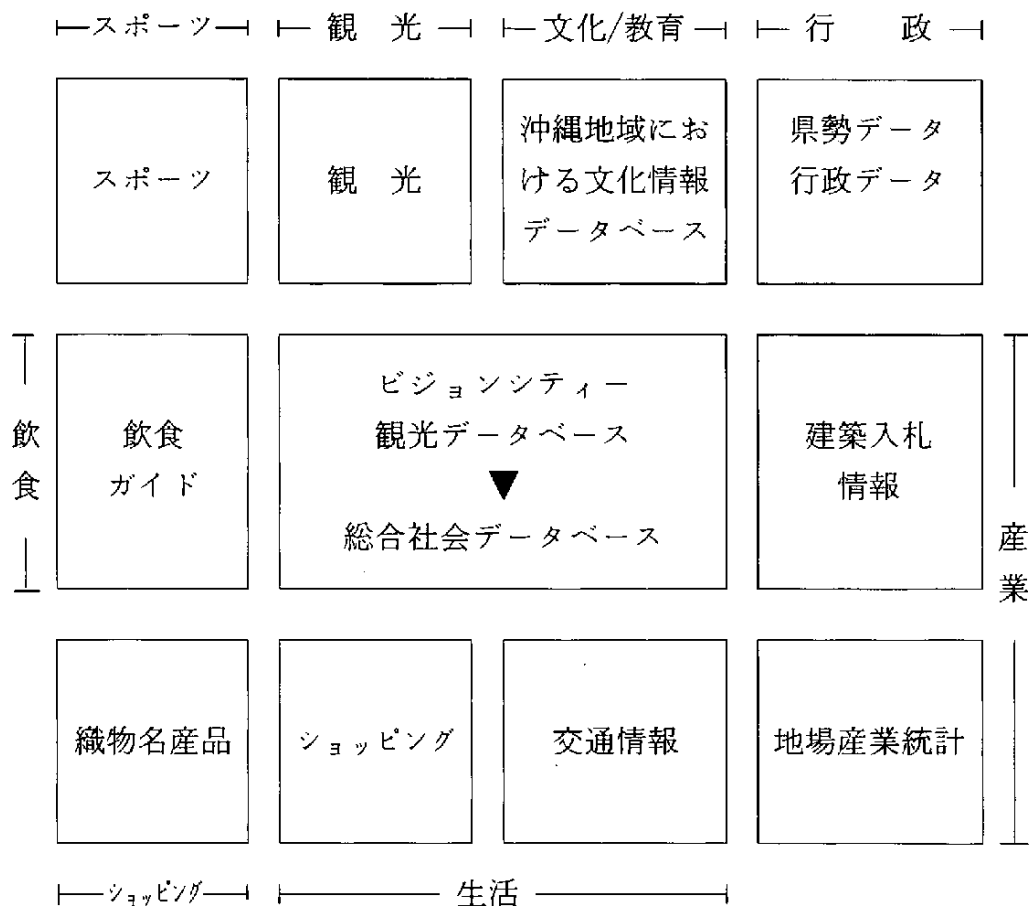


図6 ビジョンシティ データベース

2. 5 特徴

沖縄地域における文化情報データベースを構築するにあたり、その目的とするところは、文化情報を提供することにより県内観光産業の振興と文化資産の保護、啓蒙を促進することであった。

こうした目的の下に構築されたデータベースは、下記の特徴を持つと言える。

- ①どのような利用者にも幅広く利用できるように、希望インデックスによる情報提供フロー、Q & A型の質問形式による情報提供フロー、解説型のダイレクトアクセス情報提供フロー、画面 I D N Oによるダイレクトアクセス情報提供フローの4種類の情報提供フローを提供している。
- ②情報提供はオンライン提供を基本としているが、P Cでの単体利用も可能である為、イベント、家庭内/学校内、センターシステム非稼働時など広範囲な利用が可能である。
- ③ユーザーは現在のビジョンシティのビデオテックス端末に加え、パソコン通信、単体利用等幅広いメディアで県内外での利用が可能である為、沖縄の文化性を広範囲に啓蒙することができる。
- ④本データベースは、ビデオテックスの標準利用形態であるツリー構造で情報検索を行うのではなく、データベースと構造をリレーショナルな形で結合している為、データベースの更新、データベースの複数利用の効率化がはかれる。
- ⑤沖縄で初の総合文化情報データベースの電子化が可能となり、県内文化情報の保存、啓蒙に貢献する。

2. 6 予想される効果

(1) 効果

- ・沖縄地域における文化情報データベースは、沖縄地域における初の総合文化情報の電子化である。データベースの電子化は、電子メディアを通して、全国どこでも情報をアクセスすることができる。かつ、情報の更新、時間的制約からの解決、情報再利用等の効率的な利用が可能になる。その意味において、沖縄の文化性を他地域に広範囲に啓蒙できる効果が期待できる。

- ・作成した文化情報データベースは、NAPLPS方式の画像型のデータベースであり、あらゆる層に読みやすい型となっており、利用の普及促進がはかれる効果が期待できる。
- ・文化という特性から、観光以外にも教育市民情報としての利用も可能である。

(2) 利用見通し

①利用対象者

主な利用対象者として、以下の業種が考えられる。

- ・旅行代理店
- ・市町村資料室
- ・航空会社
- ・土産店、店舗
- ・学校
- ・空港、ターミナル等の公共的施設
- ・博物館、公民館、図書館
- ・ホテル、リゾート

②利用用途

代表的な利用業種と利用用途例は以下の通りである。

- ・旅行代理店
県内よりも県外の旅行代理店のカウンターで利用。
沖縄の見どころ、文化的経験施設の紹介により、沖縄旅行希望者のアイキャッチ用に利用する。
- ・学校
学校内教育において利用、特に小学校での社会科教育、郷土文化教育で、教師が生徒へ紹介する型の利用や、生徒自身に利用させ、コンピュータ教育を兼ねるCAI (COMPUTER AIDED INSTRUCTION) 教育機器、教材として利用可能。
- ・観光協会、組合
県外での沖縄紹介フェアや、イベントで利用可能
催し物会場に、情報端末を設置し、沖縄情報の啓蒙を行う。電話回線等の利用が不要なので、機動力のある利用が可能となる。

③利用頻度

正確には未定であるが、ビジョンシティ内情報のうち、観光、文化的な情報の年間アクセス画面数から想定し、90万画面／年以上を想定している。

3 今後の課題

3.1 システムの評価

本データベースは、誰にでも気軽に利用することができる沖縄初の文化情報の電子化であり、観光、文化、教育、産業で利用可能なマルチパーパスなデータベースである。その意味においては、だれでも気軽に利用可能な検索フローを設定し、いつでも何処でも利用できるように大規模電子ネットワーク上で構築したことに加えてPCベースでの単独利用型データベース構成並びにソフトウェアを採用したことは今後の沖縄文化情報のデータベース化を促進していく上で大きな効果があるといえよう。しかも短期間でその概要を設計し、今後の沖縄文化情報のデータベース化の基礎を作成できたことは、大きく評価できるのではないかと。

しかしながら、電子媒体の特質であるデータの加工、修正、更新の便利さに対する追求、ならびに選定したテーマの大きさからどこまで明快に内容をしぼりこめたかという点については、今後改良すべき内容が多々あると認識している。

その点から本データベースの問題点を考慮してみると、

- (1) 複合条件による検索が必要ではなかったか。
- (2) 情報の更新のオンライン化が必要ではなかったか。
- (3) 文化の規定が明確だったか。
- (4) 文化情報をキーとした産業振興の視点が明確だったか。
- (5) 訴求するメディアの選択は確かだったか。

という点があげられる。以下それぞれの問題点に応じて今後の方向をさぐってみる。

(1) 複合条件による検索

本データベースは、利用者の層を拡大するためおもにキーワードを多様した情報検索の手法を採用した。この方法は初心者の利用拡大には効果があるが、やや専門的な利用者には物足りない手法といえる。また観光者を中心に考えた場合、人数、期間、嗜好、目的、予算等の各種の条件により行動パターンが変化するが、そのような利用者に対する適切な利用法を今後開発する必要があると考えている。

(2) 情報の更新のオンライン化

本データベースは沖縄の文化情報の電子化の基礎情報作成に重点をおいたため、更新性のある情報には重点をあまり置かなかった。しかしながら、陶器の窯だし日、祭り、イベント、体験スクール等即時更新が必要な情報ほど利用者のニーズが高いことも事実である。今後はその点を踏まえ、観光連盟、協会、各種の協同組合、その他観光、教育施設からPC利用による情報更新ソフトウェアの開発や、センターシステムを核とする情報更新の環境づくりが重要課題といえよう。

(3) 文化の規定

本データベース作成にあたり教育、観光、産業、行政等の各界の先生の方々にご指導をいただいたが、沖縄文化をどのように規定するかが大きな論点となった。今回データベース化されなかった文化情報として、食文化、薬文化、郷土の遊び、首里城等に関するものがある。これらはすべて今回データベース化された情報項目に劣らず沖縄を代表する文化といえる。今後はこのような情報も積極的に沖縄文化として紹介していく必要があると考えている。

(4) 文化情報をキーとした産業振興

本データベースは文化情報をキーとした産業振興を目的の一つとして作成された。その意味において最もメリットがあるのはイベント、体験コース、スクール等である。しかしながら残念なことにこの種類の情報はあまり多くはなかった。それはとりもなおさず沖縄にこの種の施設が少ないことを意味している。今後は情報もさることながら、産業振興のインフラストラクチャーの作成を情報提供を牽引者として積極的にアピールする必要があるといえよう。

(5) 訴求するメディアの選択

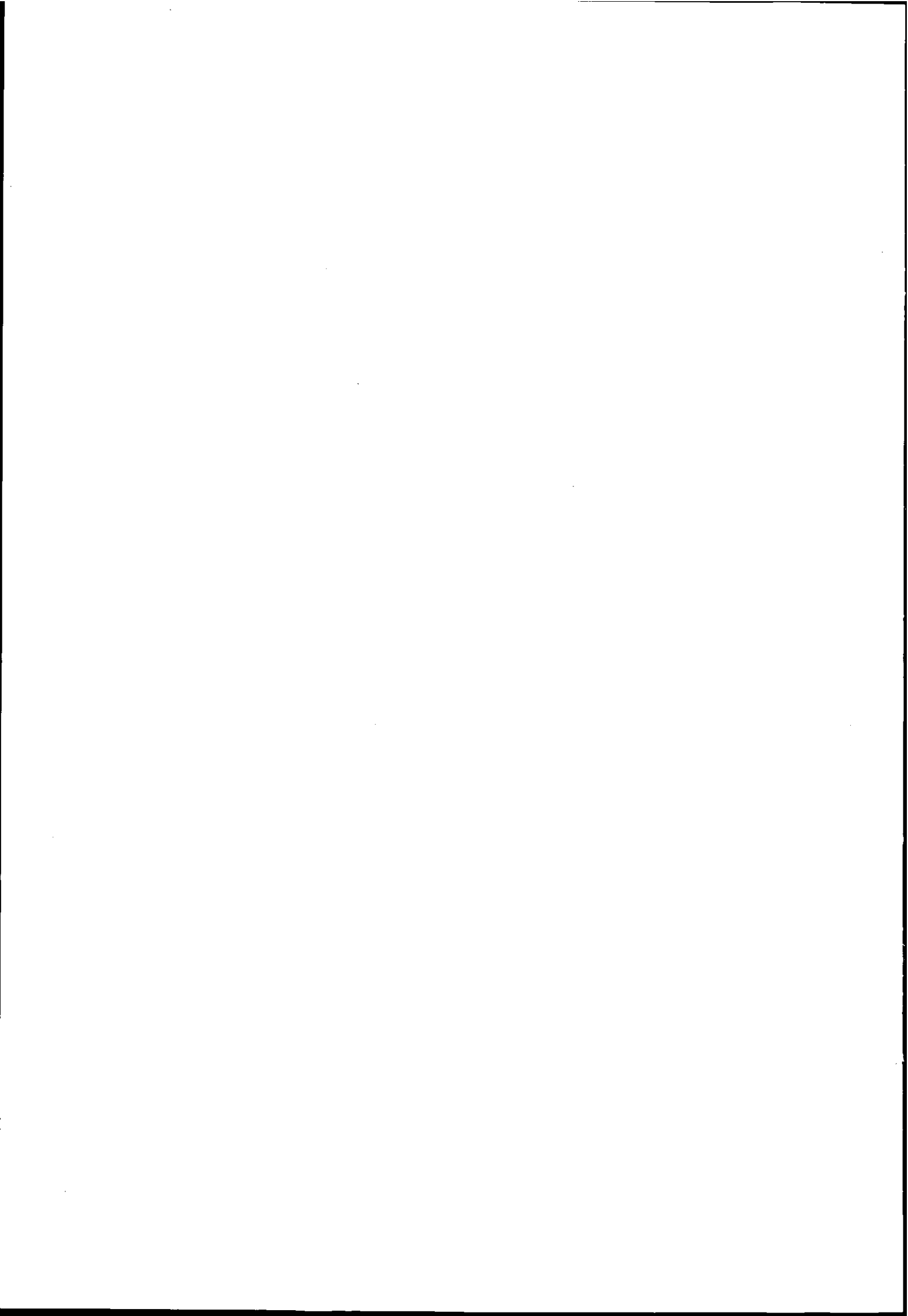
本データベースの構築にあたっては、利用のしやすさ、普及のしやすさ等を考慮して、ビデオテックスを採用した。しかしながらデータベースによっては民謡、民話等、音声データベースが効果的なもの、まつり、イベントのような映像データベースが効果的なものもある。また利用者の層を考えると、視覚障害者、聴覚障害者など特定のメディアでしか情報を利用できない利用者があることを忘れてはいけない。その意味において、今後は、音声応答システムによる情報提供、CD、双方向CATV等を利用したマルチメディア端末の利用も積極的に考えていく必要があるといえる。

3. 2 今後の課題

前記3. 1のシステムの評価における(1)から(5)の各問題点の抽出は、このほかにもいろいろな視点があろうし、反面、これらの問題をフォローしたにせよ完全なデータベースが作成できる保証はないといえる。

データベースは本来成長していく物であり、その内容が文化であるならばなおさら変化成長していくことを前提に考える必要があるといえよう。

その意味において、今後の本データベースの拡張にあたり、あらゆる変化に柔軟に対応したシステム機能の拡大、文化の把握を明確にしたデータベースの作成が利用者にとって利用しやすい地域活性化のためのデータベース構築を可能にすると考えられる。



—— 禁 無 断 転 載 ——

平成2年3月発行

発行 財団法人 データベース振興センター
東京都港区浜松町二丁目4番1号
世界貿易センタービル7階
TEL 03-459-8581

委託先 沖縄情報通信株式会社
沖縄県那覇市松尾1-18-26
オペックスビル5F
TEL 0988-63-3564

印刷所 株式会社南西印刷
沖縄県那覇市首里石嶺町1-127
TEL 0988-84-4321



